

資料 1－2

令和 6 年 1 0 月 3 0 日

瑞浪市廃棄物減量等推進審議会

瑞浪市一般廃棄物処理基本計画第 1 次中間見直しに係る
アンケート調査結果（事業所アンケート）

＜目次＞

1 回答者の事業所について		
問1	事業所の業種	P1
問2	事業所の形態	P1
問3	事業所の所在地	P2
問4	事業所の従業員数(非正規従業員含む)	P2
2 ごみの排出について		
問1	「自己処理責任」についての理解度	P3
問2	事業系一般廃棄物と産業廃棄物の区分及び処理方法の違いについての理解度	P5
問3	ごみの排出量について	P7
問4	排出量の多いごみについて	P9
3 ごみ減量・リサイクルについて		
問1	どの程度取り組んでいるかについて	P12
問2	どのような取り組みを行っているかについて	P14
問3	課題と感じていることについて	P18
4 ごみ処理に関する情報の提供について		
問1	主な情報源について	P22
問2	市から提供してほしい情報について	P26
問3	市に期待することについて	P30
5 自由意見		
	効果的と思われる取り組み、困っていることなど	P34

アンケート調査の実施概要

1. 実施方法

調査の実施は、アンケート調査票を郵送により発送し、同封した回収用封筒にて市役所に返送を依頼した。

アンケート調査票は、無記名式とし、各設問に対して該当する項目に○印を付すもの等を中心に、設問の最後には自由意見を記入する欄を設けた。

2. 調査対象者

令和6年7月31日時点での市内を対象に200事業所を無作為に抽出した。

3. 調査の実施期間

令和6年8月6日にアンケート調査票を発送し、令和6年8月30日までに投函を依頼した。

アンケートの回収については、9月4日着のものまでを有効回答とした。

4. 調査票の回収状況

有効回答の調査票は132通であり、回収率は66.0%であった。

宛先不明で戻ってきたものは5通であった。

Q1: あなた(回答者)の事業所について

【問1. 事業所の業種】

件数	比率	選択肢	グラフ
4	3.0%	1. 農林漁業	3.0%
1	0.8%	2. 鉱業、採石業、砂利採取業	0.8%
20	15.2%	3. 建設業	15.2%
51	38.6%	4. 製造業	38.6%
3	2.3%	5. 電気・ガス・熱供給・水道業	2.3%
0	0.0%	6. 情報通信業	0.0%
1	0.8%	7. 運輸業、郵便業	0.8%
20	15.2%	8. 卸売業、小売業	15.2%
1	0.8%	9. 金融業、保険業	0.8%
0	0.0%	10. 不動産業、物品賃貸業	0.0%
1	0.8%	11. 学術研究、専門・技術サービス業	0.8%
2	1.5%	12. 宿泊業、飲食サービス業	1.5%
5	3.8%	13. 生活関連サービス業、娯楽業	3.8%
2	1.5%	14. 教育、学習支援業	1.5%
12	9.1%	15. 医療、福祉	9.1%
0	0.0%	16. 複合サービス事業	0.0%
4	3.0%	17. サービス業(他に分類されないもの)	3.0%
3	2.3%	18. その他	2.3%
2	1.5%	無回答・複数回答	1.5%
132	100.0%	計	

その他: 犬のブリーダー、空調設備、タイル等の加工絵付業

- ・「製造業」が最も多く、次いで「建設業」、「卸売業、小売業」の順になっている。

【問2. 事業所の形態】

件数	比率	選択肢	グラフ
39	29.5%	1. 事務所、営業所	29.5%
56	42.4%	2. 工場、作業所	42.4%
2	1.5%	3. 飲食店、レストラン	1.5%
7	5.3%	4. 販売店、店舗	5.3%
0	0.0%	5. ホテル、旅館	0.0%
4	3.0%	6. 映画館、劇場、会館、娯楽施設	3.0%
4	3.0%	7. 倉庫、配送センター、車庫	3.0%
0	0.0%	8. 研究所	0.0%
7	5.3%	9. 病院、医療機関、介護福祉施設	5.3%
8	6.1%	10. その他	6.1%
5	3.8%	無回答・複数回答	3.8%
132	100.0%	計	

その他: 犬の繁殖所、建設現場、高等学校、障がい福祉施設、牧場、自宅事務所、学校(中・高)

- ・「工場、作業所」が最も多く、次いで「事務所、営業所」の順になっている。

【問3. 事業所の所在地】

件数	比率	選択肢	グラフ
51	38.6%	1. 瑞浪地区	38.6%
23	17.4%	2. 土岐地区	17.4%
16	12.1%	3. 明世地区	12.1%
11	8.3%	4. 稲津地区	8.3%
15	11.4%	5. 陶地区	11.4%
7	5.3%	6. 日吉地区	5.3%
7	5.3%	7. 釜戸地区	5.3%
1	0.8%	8. 大湫地区	0.8%
1	0.8%	無回答・複数回答	0.8%
132	100.0%	計	

- ・「瑞浪地区」が最も多く、次いで「土岐地区」、「明世地区」の順になっている。

【問4. 事業所の従業員数（非正規従業員含む）】

件数	比率	選択肢	グラフ
43	32.6%	1. 1～4人	32.6%
32	24.2%	2. 5～9人	24.2%
30	22.7%	3. 10～19人	22.7%
7	5.3%	4. 20～29人	5.3%
9	6.8%	5. 30～49人	6.8%
7	5.3%	6. 50～99人	5.3%
2	1.5%	7. 100～299人	1.5%
1	0.8%	8. 300人以上	0.8%
1	0.8%	無回答・複数回答	0.8%
132	100.0%	計	

- ・「1～4人」が最も多く、次いで「5～9人」、「10～19人」の順になっている。

Q2: ごみの排出について

【問1. 事業ごみは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」および「瑞浪市廃棄物の処理および清掃に関する条例」により自らの責任において適正に処理しなければならない「自己処理責任」が義務付けられています。このことについてご存知ですか？】

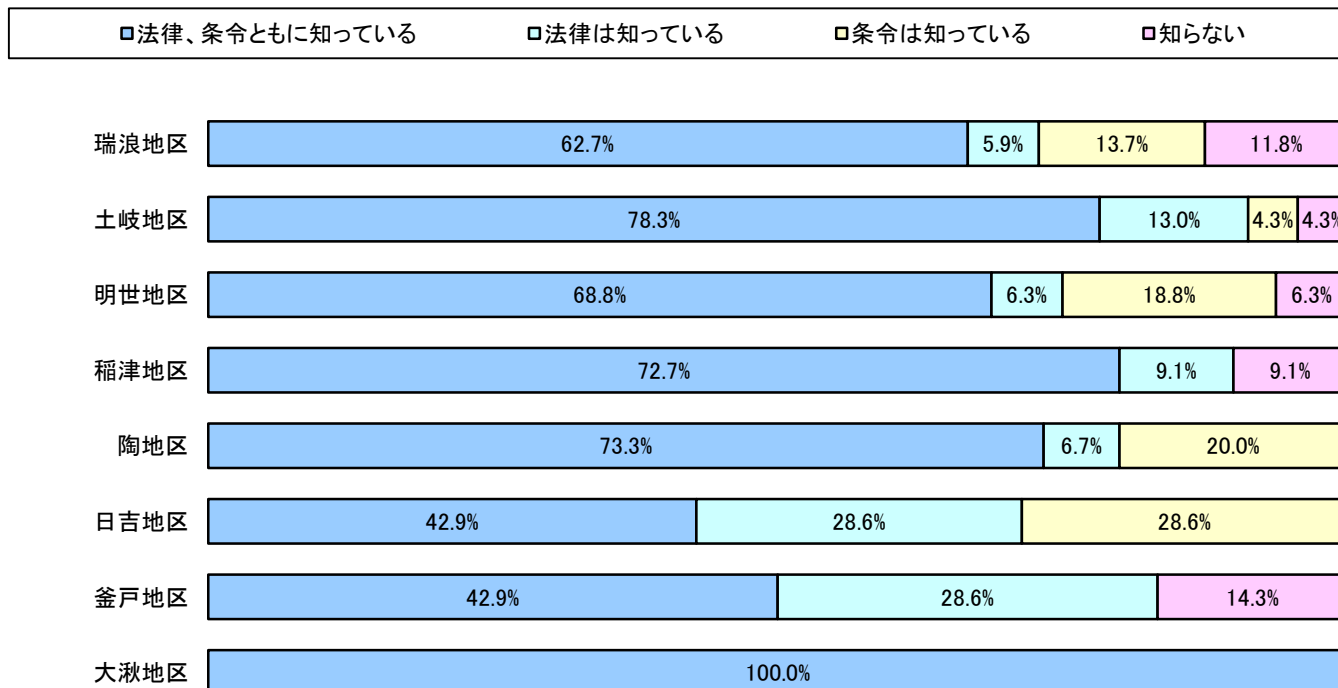
件数	比率	選択肢	グラフ
87	65.9%	1. 法律、条例ともに知っている	65.9%
14	10.6%	2. 法律は知っている	10.6%
16	12.1%	3. 条例は知っている	12.1%
10	7.6%	4. 知らない	7.6%
5	3.8%	無回答・複数回答	3.8%
132	100.0%	計	

「法律、条例ともに知っている」が最も多く、次いで「条例は知っている」、「法律は知っている」の順になっている。

業種別集計

	□法律、条例ともに知っている	□法律は知っている	□条例は知っている	□知らない
農林漁業	75.0%			25.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	100.0%			
建設業	70.0%	10.0%	15.0%	5.0%
製造業	66.7%	7.8%	11.8%	7.8%
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0%			
情報通信業				
運輸業、郵便業	100.0%			
卸売業、小売業	45.0%	25.0%	15.0%	10.0%
金融業、保険業	100.0%			
不動産業、物品賃貸業				
学術研究、専門・技術サービス業	100.0%			
宿泊業、飲食サービス業	100.0%			
生活関連サービス業、娯楽業	80.0%			20.0%
教育、学習支援業	50.0%			50.0%
医療、福祉	66.7%	8.3%	8.3%	16.7%
複合サービス事業				
サービス業（他に分類されないもの）	75.0%			
その他	33.3%			66.7%

所在地別集計

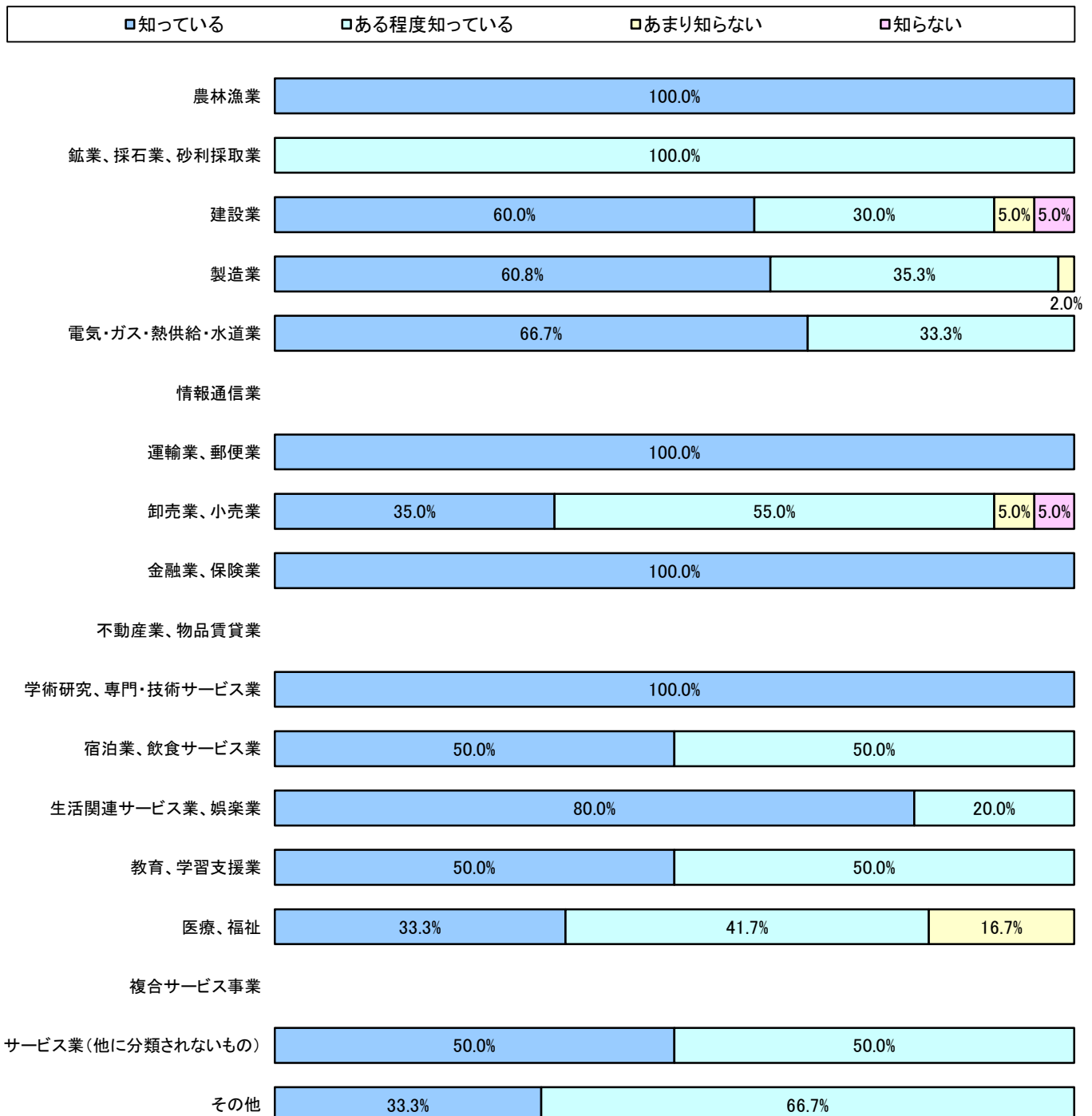


【問2. 一般廃棄物と産業廃棄物の区分及び処理方法の違いをご存知ですか？】

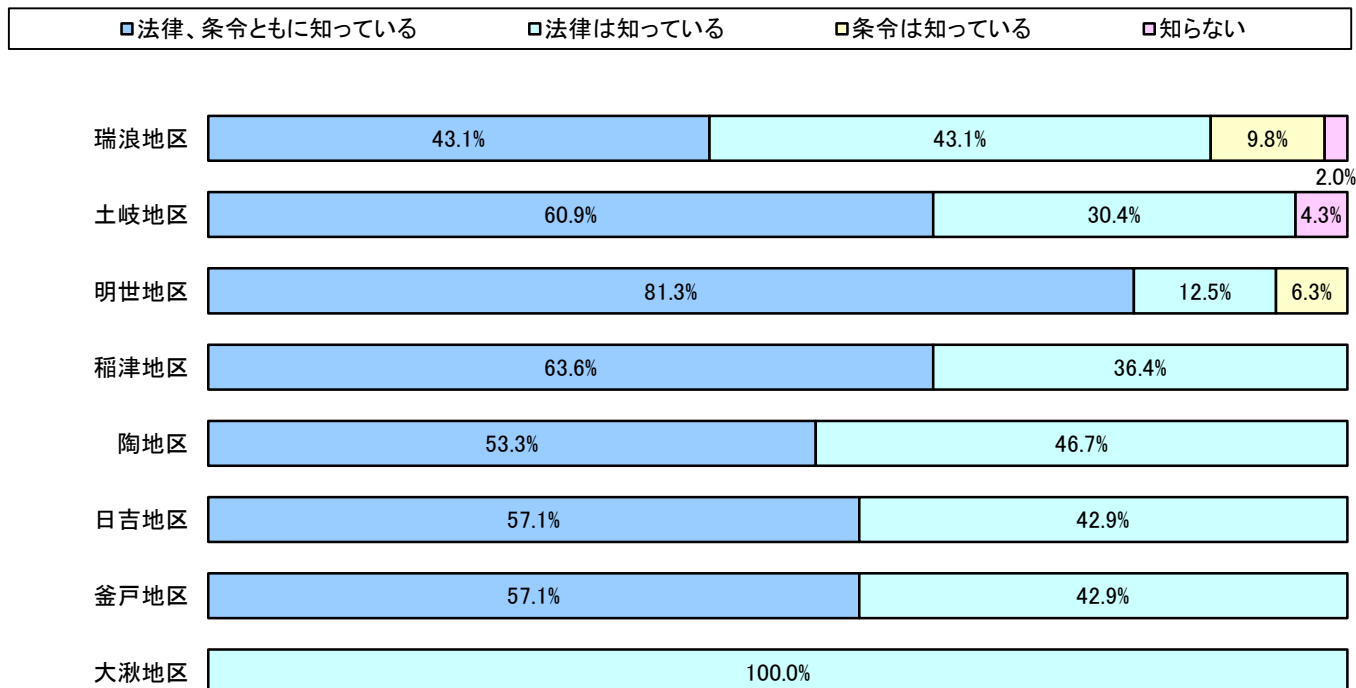
件数	比率	選択肢	グラフ
72	54.5%	1. 知っている	54.5%
50	37.9%	2. ある程度知っている	37.9%
6	4.5%	3. あまり知らない	4.5%
2	1.5%	4. 知らない	1.5%
2	1.5%	無回答・複数回答	1.5%
132	100.0%	計	

「知っている」が最も多く、次いで「ある程度知っている」の順になっている。

業種別集計



所在地別集計

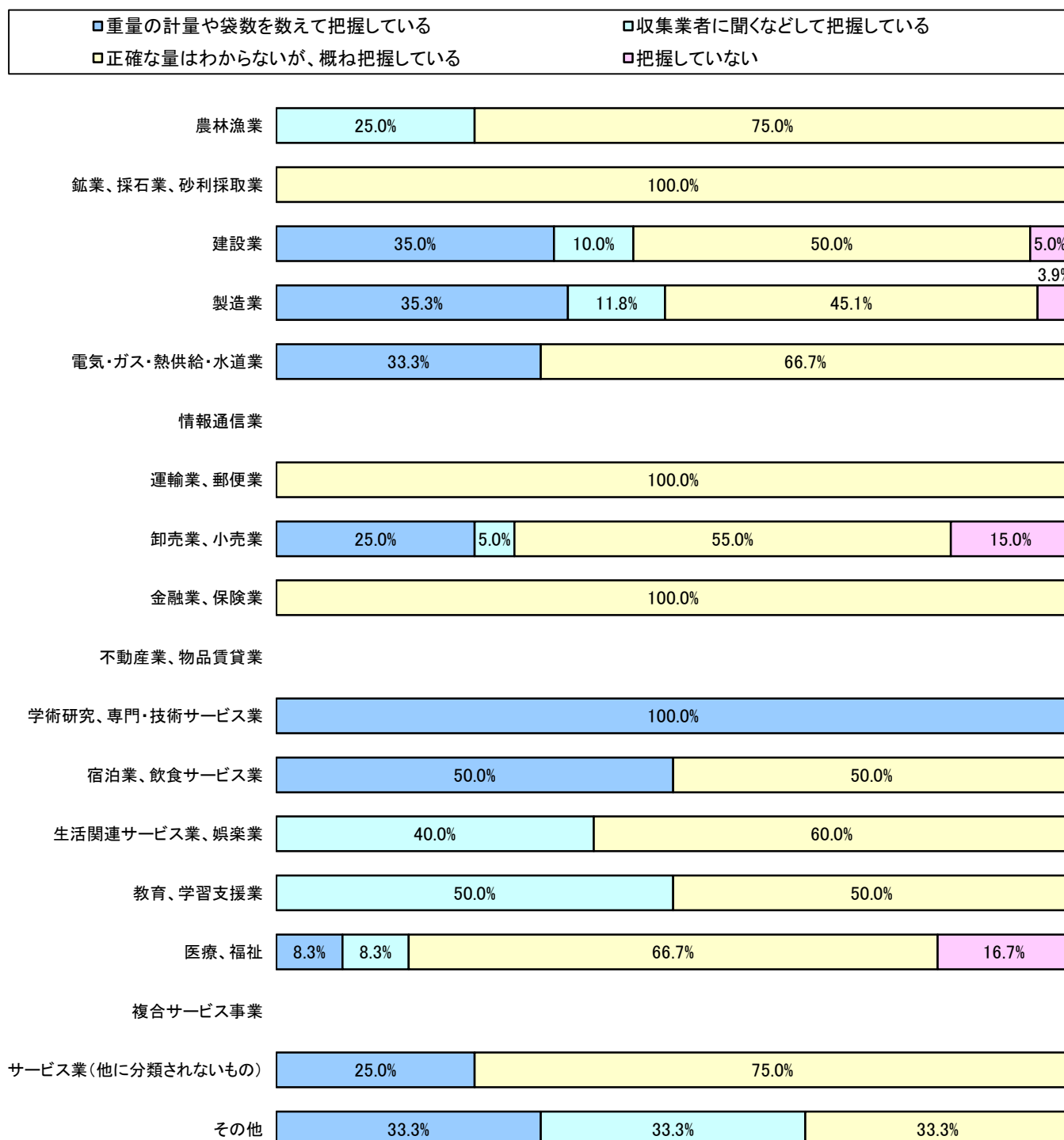


【問3. あなたの事業所ではごみの排出量を把握していますか？】

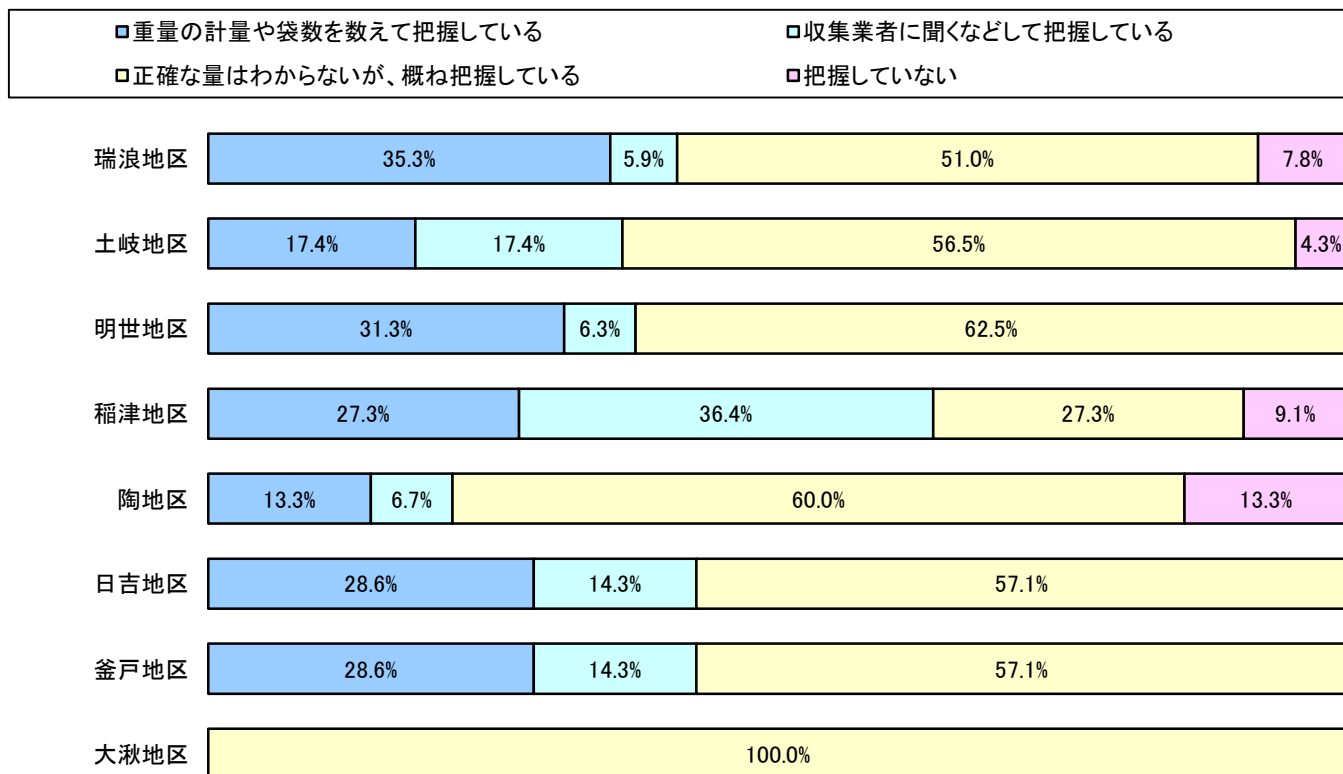
件数	比率	選択肢	グラフ
37	28.0%	1. 重量の計量や袋数を数えて把握している	28.0%
15	11.4%	2. 収集業者に聞くなどして把握している	11.4%
70	53.0%	3. 正確な量はわからないが、概ね把握している	53.0%
8	6.1%	4. 把握していない	6.1%
2	1.5%	無回答・複数回答	1.5%
132	100.0%	計	

「正確な量はわからないが、概ね把握している」が最も多く、次いで「重量の計量や袋数を数えて把握している」、「収集業者に聞くなどして把握している」の順になっている。

業種別集計



所在地別集計



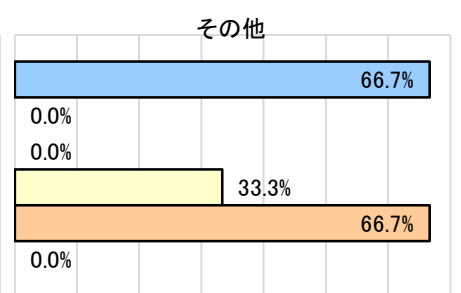
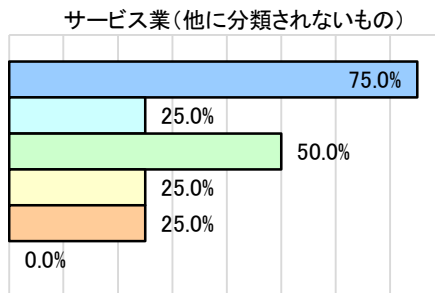
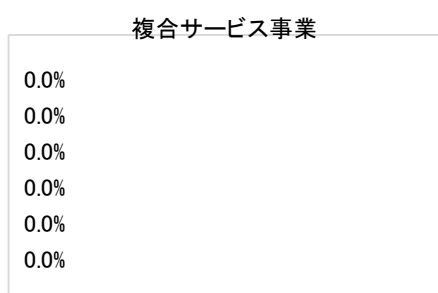
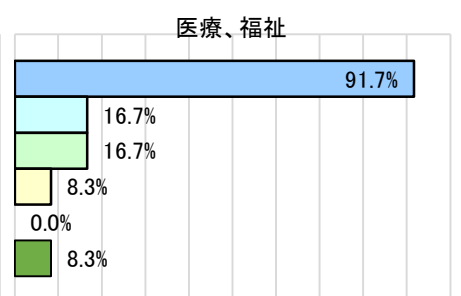
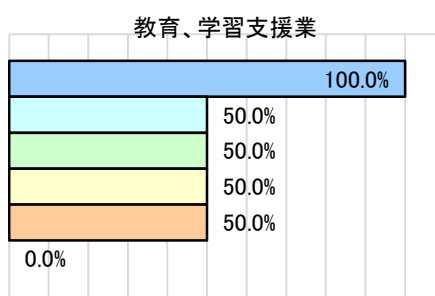
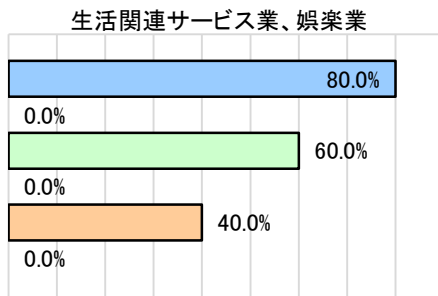
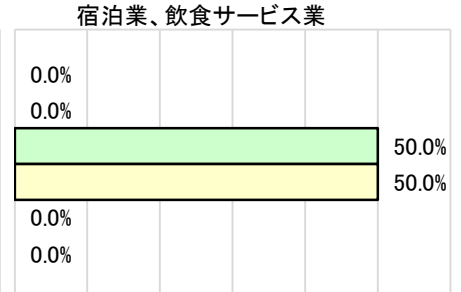
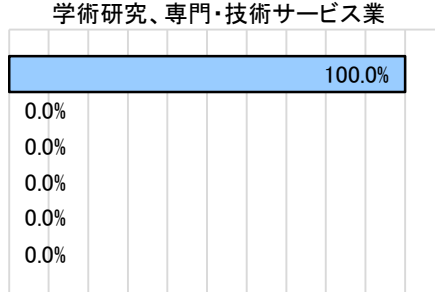
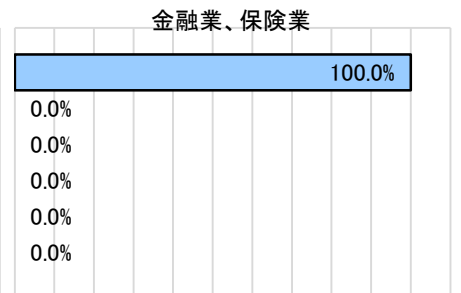
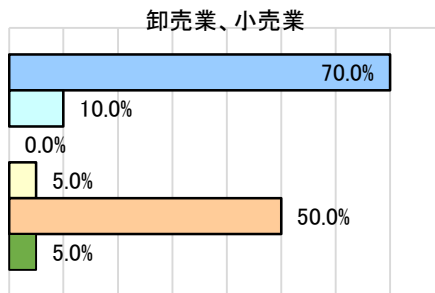
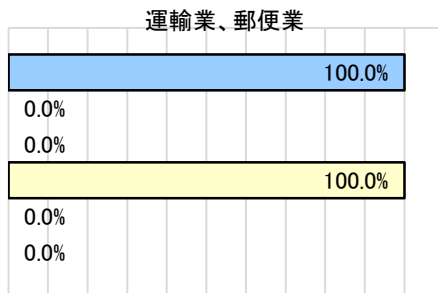
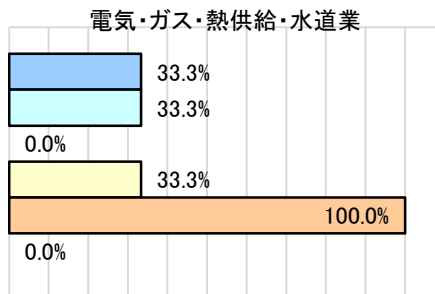
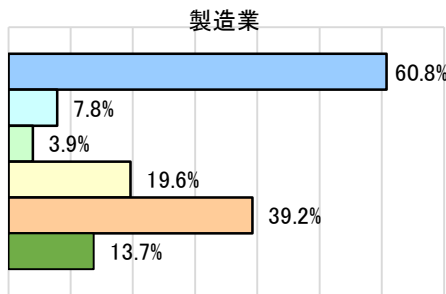
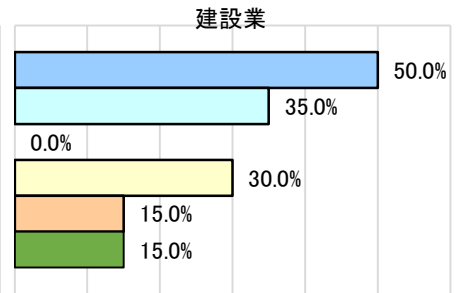
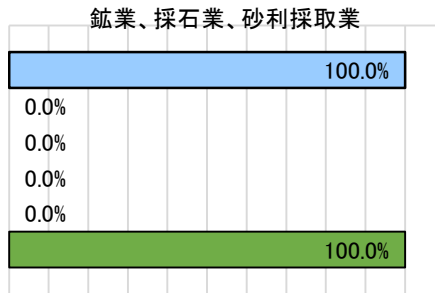
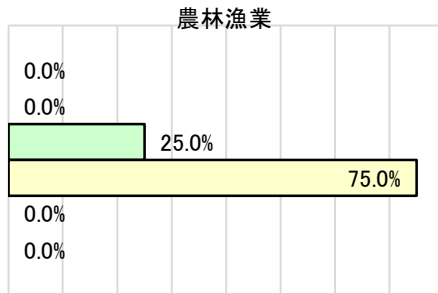
【問4. あなたの事業所で排出量の多いごみは何ですか＜最大3つまで＞】

件数	比率	選択肢	グラフ
83	62.9%	1. 可燃ごみ(紙類)	
18	13.6%	2. 可燃ごみ(木くず、剪定枝等)	
13	9.8%	3. 可燃ごみ(生ごみ、食べ残し等)	
29	22.0%	4. 可燃ごみ(その他)	
43	32.6%	5. 不燃ごみ	
13	9.8%	6. その他	
0	0.0%	無回答・4つ以上回答	0.0%
199	-	計	
可燃ごみ(その他):ビニール…13件、プラスチック…4件、発泡スチロール…3件、クロス(古布)、ジュタン…3件 空コンテナバッグ、コーヒーの抽出後カス、ゴム、ゴム手袋、ワッテ、ガーゼ 死んだ魚、わたくず、ワックス、わら、廃剤、弁当等の容器			
その他:陶磁器くず…3件、汚泥、梱包材、事業系産廃可燃ごみ、ダンボール(リサイクル)、 フレコンバッグ、石膏型・ケース、木くずチップ材、陶器用の型、ビニール、感染性廃棄物			

・「可燃ごみ(紙類)」が最も多く、次いで「不燃ごみ」、「可燃ごみ(その他)」の順になっている。

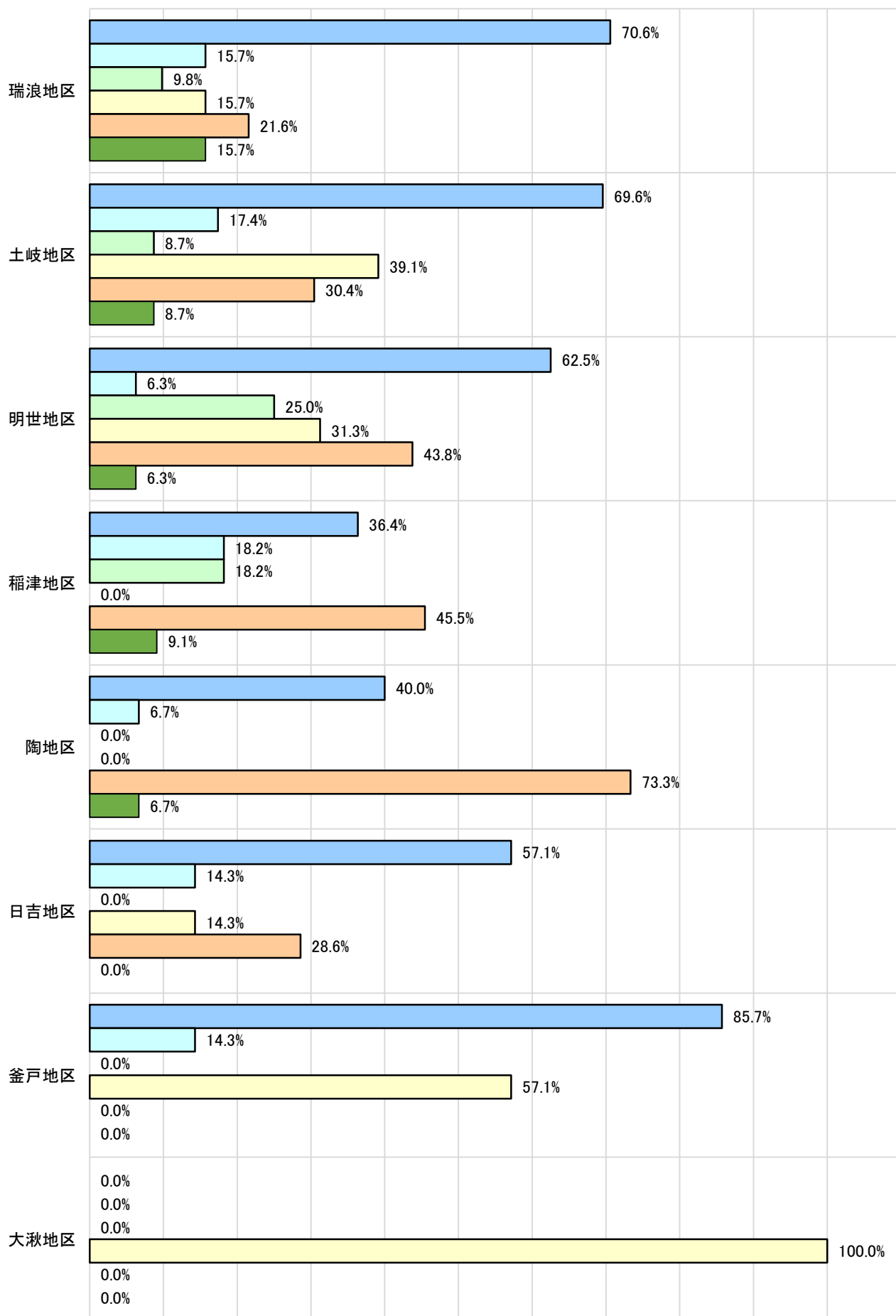
業種別集計

■可燃ごみ(紙類) ■可燃ごみ(木くず、剪定枝等) ■可燃ごみ(生ごみ、食べ残し等) ■可燃ごみ(その他) ■不燃ごみ ■その他



所在地別集計

■可燃ごみ(紙類)
 ■可燃ごみ(木くず、剪定枝等)
 ■可燃ごみ(生ごみ、食べ残し等)
 ■可燃ごみ(その他)
 ■不燃ごみ
 ■その他



Q3: ごみ減量・リサイクルについて

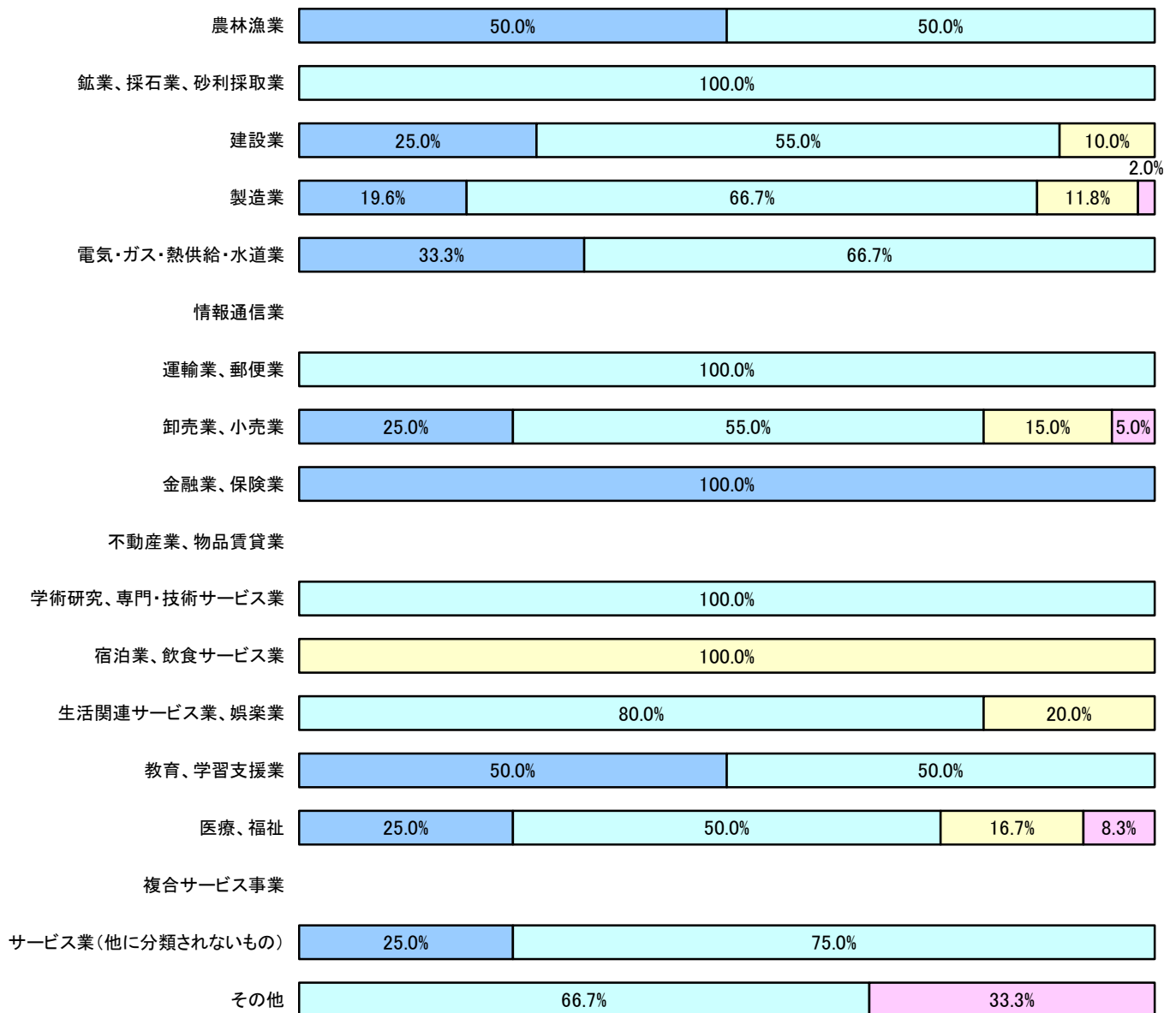
【問1. あなたの事業所では、ごみ減量・リサイクルにどの程度取り組んでいますか？】

件数	比率	選択肢	グラフ
29	22.0%	1. 積極的に取り組んでいる	22.0%
81	61.4%	2. ある程度取り組んでいる	61.4%
16	12.1%	3. 意識的には取り組んでいない	12.1%
4	3.0%	4. わからない	3.0%
2	1.5%	無回答・複数回答	1.5%
132	100.0%	計	

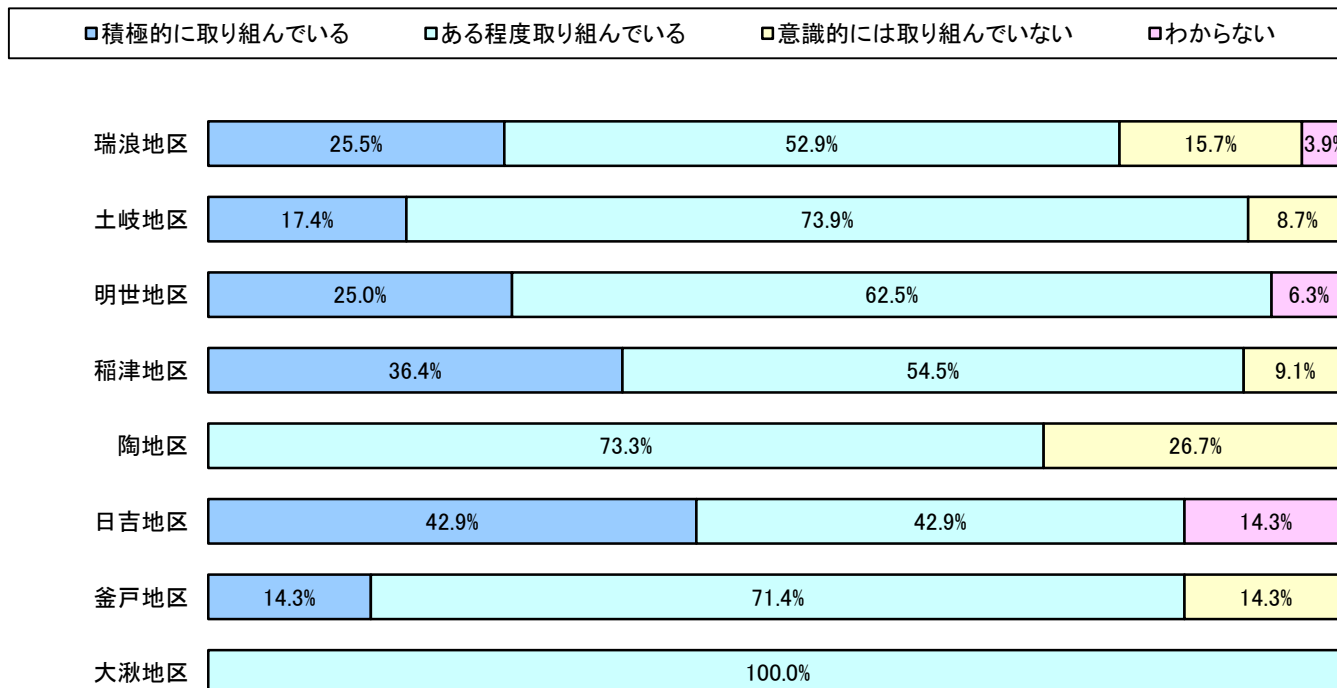
・「ある程度取り組んでいる」が最も多く、次いで「積極的に取り組んでいる」、「意識的には取り組んでいない」の順になっている。

業種別集計

☐積極的に取り組んでいる
 ☐ある程度取り組んでいる
 ☐意識的には取り組んでいない
 ☐わからない



所在地別集計



【問2. あなたの事業所では、ごみ減量・リサイクルに関してどのような取り組みを行っていますか？<いくつでも>】

件数	比率	選択肢	グラフ
55	41.7%	1. 書類・資料のペーパーレス化	41.7%
3	2.3%	2. ごみ減量・リサイクル等の計画・マニュアル等の作成	2.3%
9	6.8%	3. ごみ減量・リサイクルに関する社内教育・研修の実施	6.8%
25	18.9%	4. 包装廃棄物の抑制(過剰包装の自粛、簡易包装の推奨、納入業者への依頼)	18.9%
45	34.1%	5. 再生品・再生紙の利用促進	34.1%
66	50.0%	6. 金属類や古紙類等のリサイクル	50.0%
6	4.5%	7. リースやレンタルの活用	4.5%
14	10.6%	8. 特に何も取り組んでいない	10.6%
7	5.3%	9. その他	5.3%
1	0.8%	無回答	0.8%
231	-	計	

その他:

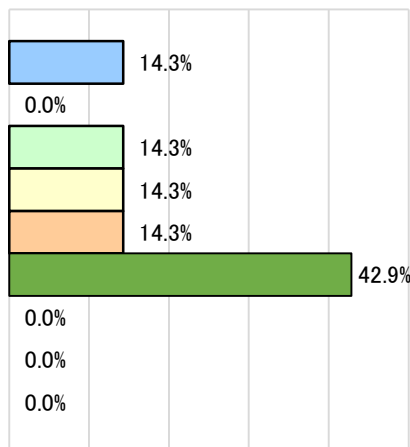
- ・クリーンセンターに分別して運び入れています。
- ・不良品をへらす工夫をしている。
- ・使用済ペーパーの裏面をメモ用に使用。
- ・直せる陶器は直して、B品(不良品)は業者に委託。
- ・空コンテナバッグについては焼却するしかない。ゴムについては使用量を削減する方策をしつつある。
- ・有料化
- ・市の処理に出している。自分で運んでいます。

- ・「金属類や古紙類等のリサイクル」が最も多く、次いで「書類・資料のペーパーレス化」、「再生品・再生紙の利用促進」の順になっている。

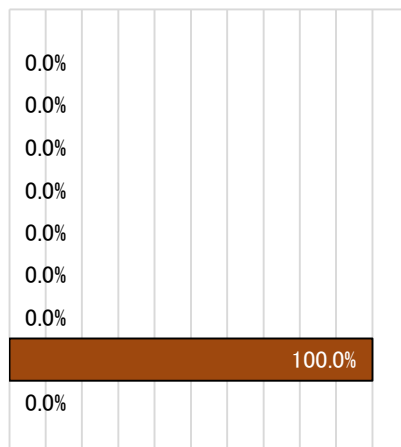
業種別集計

- 書類・資料のペーパーレス化
- ごみ減量・リサイクル等の計画・マニュアル等の作成
- ごみ減量・リサイクルに関する社内教育・研修の実施
- 包装廃棄物の抑制(過剰包装の自粛、簡易包装の推奨、納入業者への依頼)
- 再生品・再生紙の利用促進
- 金属類や古紙類等のリサイクル
- リースやレンタルの活用
- 特に何も取り組んでいない
- その他

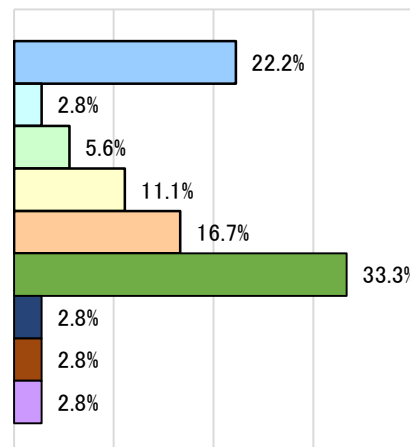
農林漁業



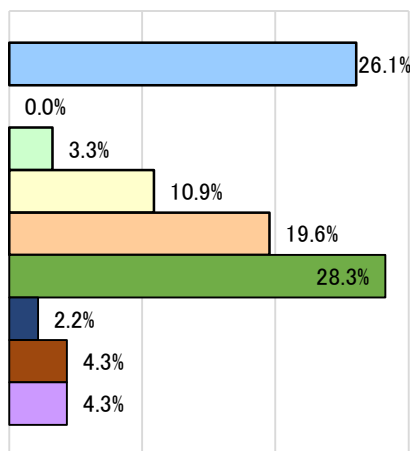
鉱業、採石業、砂利採取業



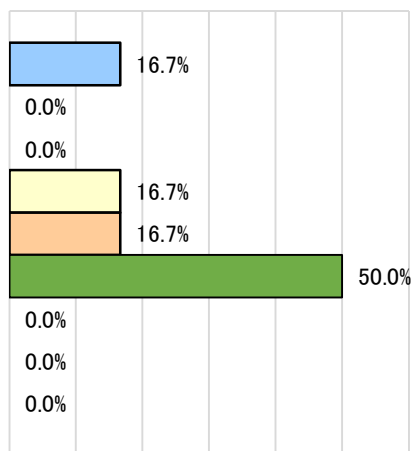
建設業



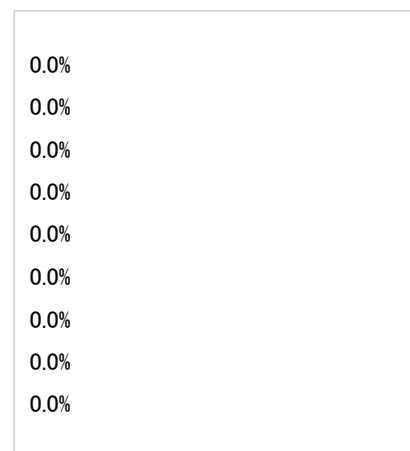
製造業



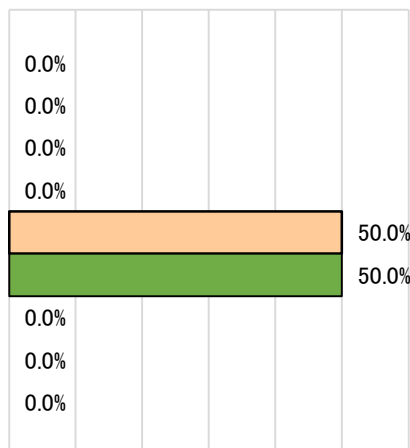
電気・ガス・熱供給・水道業



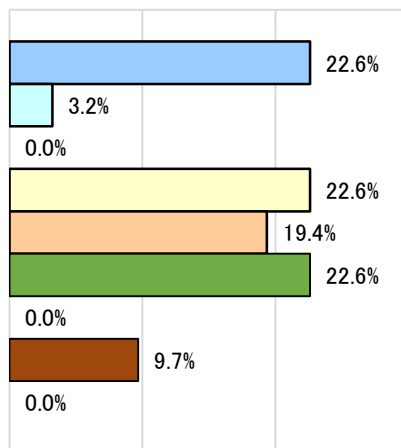
情報通信業



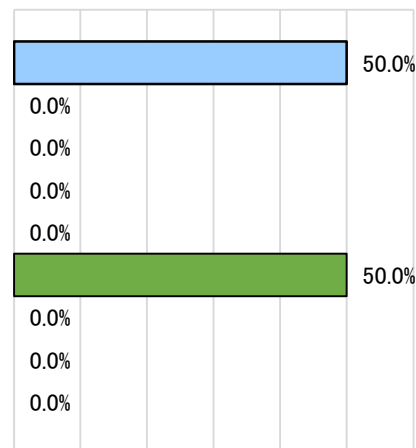
運輸業、郵便業



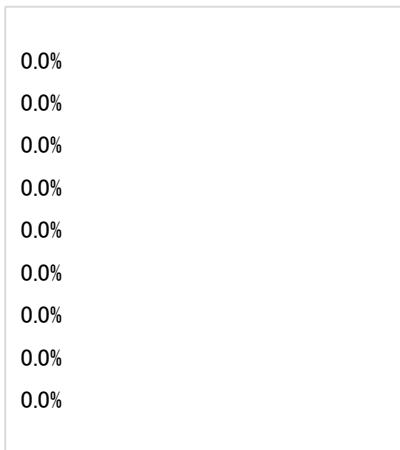
卸売業、小売業



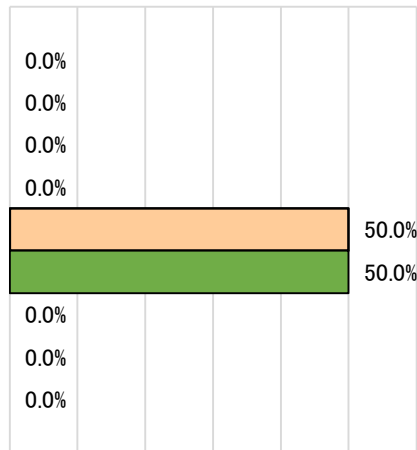
金融業、保険業



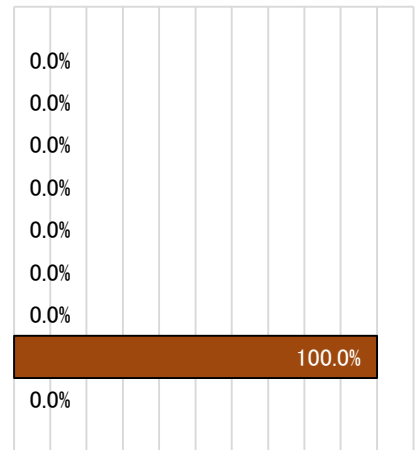
不動産業、物品賃貸業



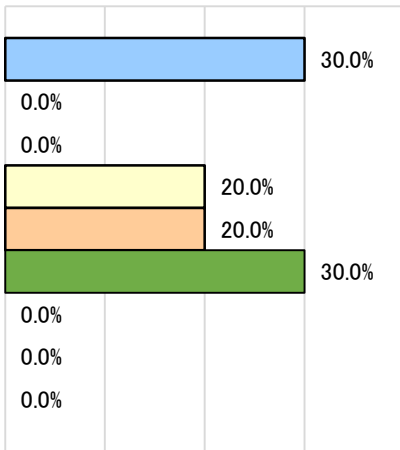
学術研究、専門・技術サービス業



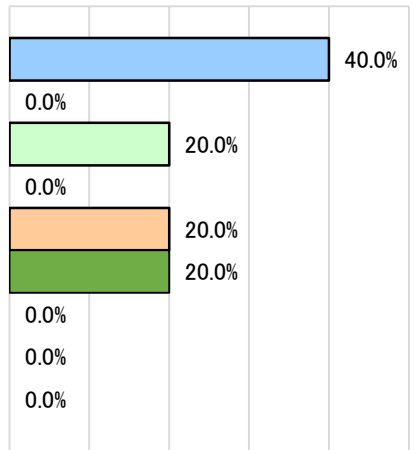
宿泊業、飲食サービス業



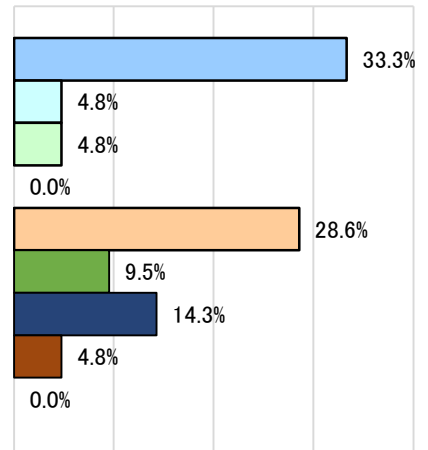
生活関連サービス業、娯楽業



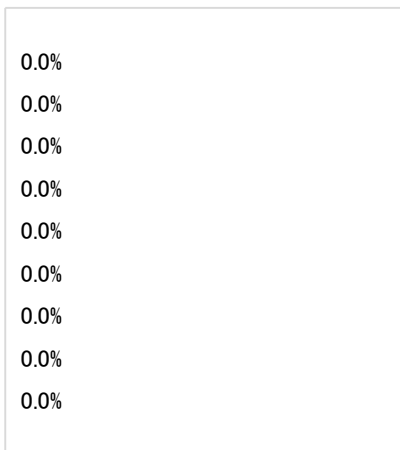
教育、学習支援業



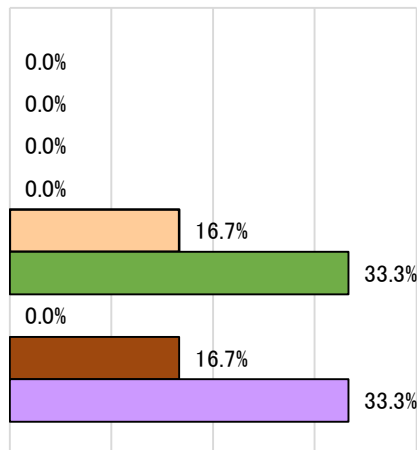
医療、福祉



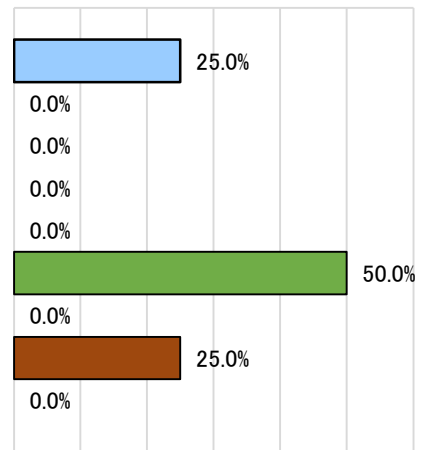
複合サービス事業



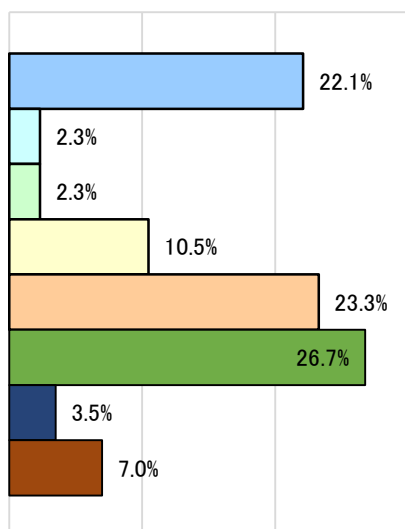
サービス業(他に分類されないもの)



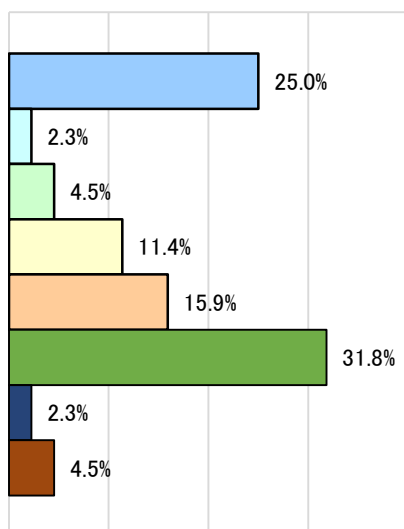
その他



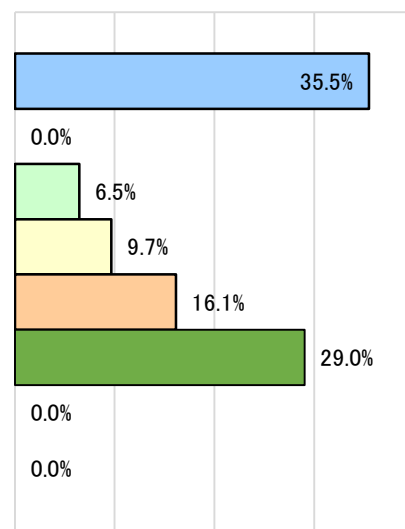
瑞浪地区



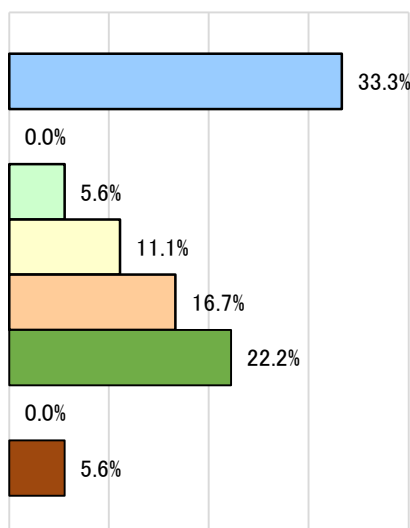
土岐地区



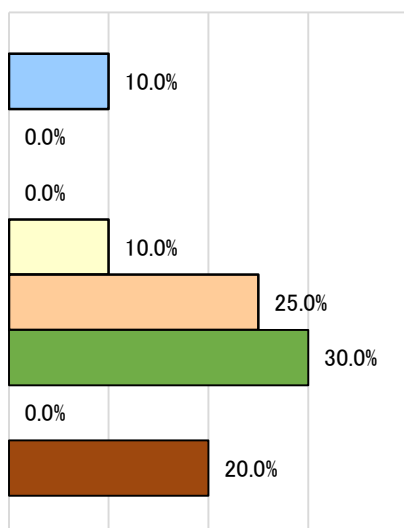
明世地区



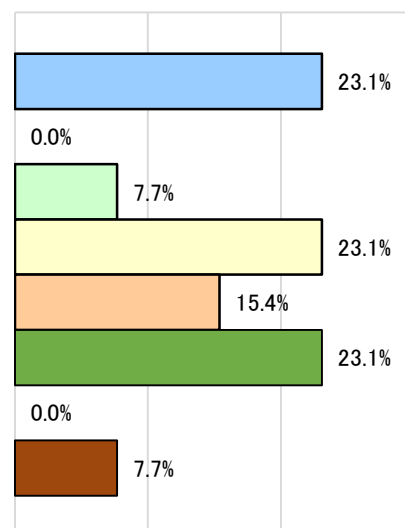
稲津地区



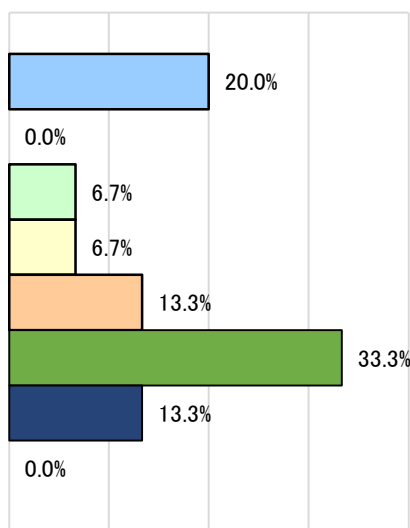
陶地区



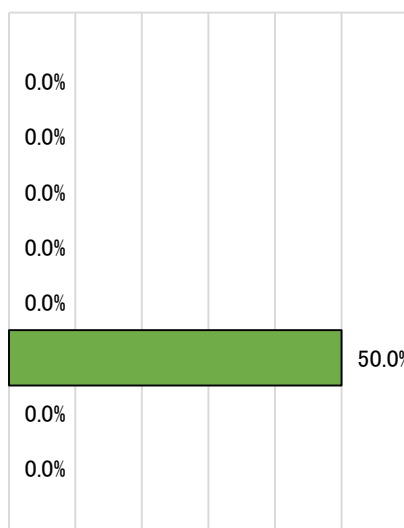
日吉地区



釜戸地区

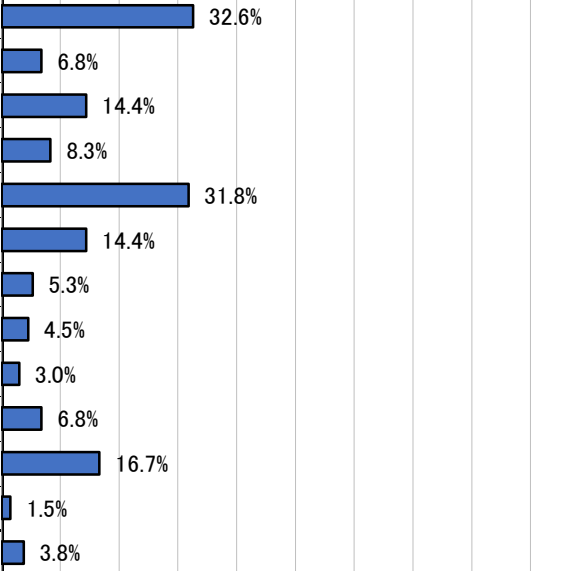


大湫地区



- 書類・資料のペーパーレス化
- ごみ減量・リサイクル等の計画・マニュアル等の作成
- ごみ減量・リサイクルに関する社内教育・研修の実施
- 包装廃棄物の抑制(過剰包装の自粛、簡易包装の推奨、納入業者への依頼)
- 再生品・再生紙の利用促進
- 金属類や古紙類等のリサイクル
- リースやレンタルの活用
- 特に何も取り組んでいない

【問3. あなたの事業所で、ごみ減量・リサイクルを進めるうえで、課題と感じていることは何ですか？<いくつでも>】

件数	比率	選択肢	グラフ						
43	32.6%	1. 減量できるものがほとんどない							
9	6.8%	2. リサイクルできるだけの量が確保できない	6.8%						
19	14.4%	3. 資源の保管場所が確保できない	14.4%						
11	8.3%	4. 企業秘密に係るもののため処理が難しい	8.3%						
42	31.8%	5. 手間や時間がかかる	31.8%						
19	14.4%	6. 経費がかかる	14.4%						
7	5.3%	7. リサイクル業者がわからない、見つからない	5.3%						
6	4.5%	8. 従業員の意識改革が難しい	4.5%						
4	3.0%	9. 売れ残り等を減らす販売管理が難しい	3.0%						
9	6.8%	10. 経済性などのメリットが得られない	6.8%						
22	16.7%	11. 特にない	16.7%						
2	1.5%	12. その他	1.5%						
5	3.8%	無回答	3.8%						
198	-	計							

その他：

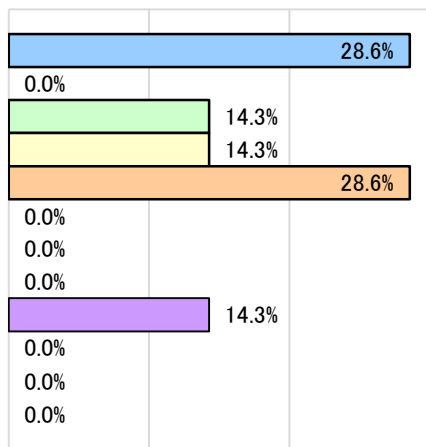
- ・死魚を肥料や魚のエサにしたいが経済的に難しいですね。
- ・契約業者で的確に処理（許可受けた業者）

- ・「減量できるものがほとんどない」が最も多く、次いで「手間や時間がかかる」、「特にない」の順になっている。

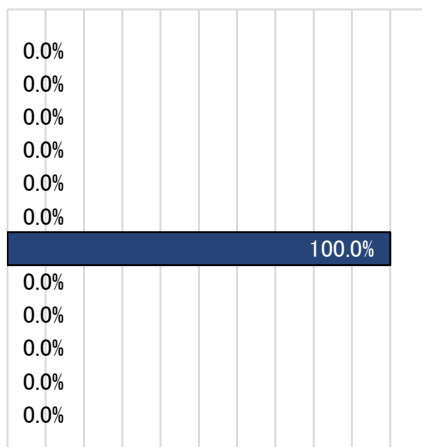
業種別集計

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ■減量できるものがほとんどない | □リサイクルできるだけの量が確保できない |
| □資源の保管場所が確保できない | □企業秘密に係るもののため処理が難しい |
| □手間や時間がかかる | ■経費がかかる |
| ■リサイクル業者がわからない、見つからない | ■従業員の意識改革が難しい |
| □売れ残り等を減らす販売管理が難しい | ■経済性などのメリットが得られない |
| ■特にない | ■その他 |

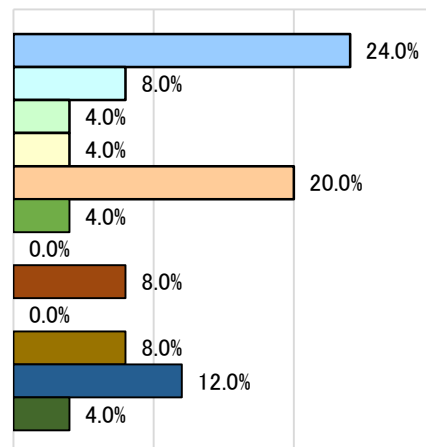
農林漁業



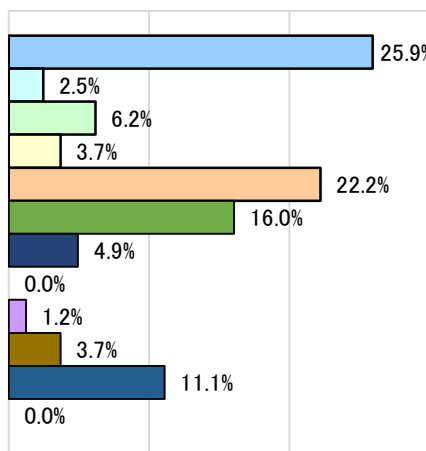
鉱業、採石業、砂利採取業



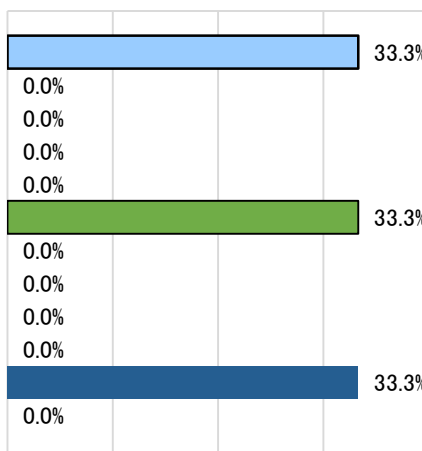
建設業



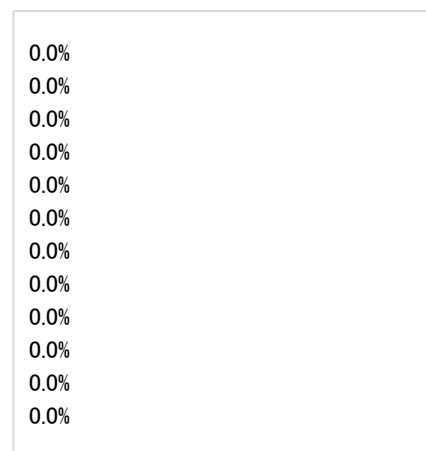
製造業



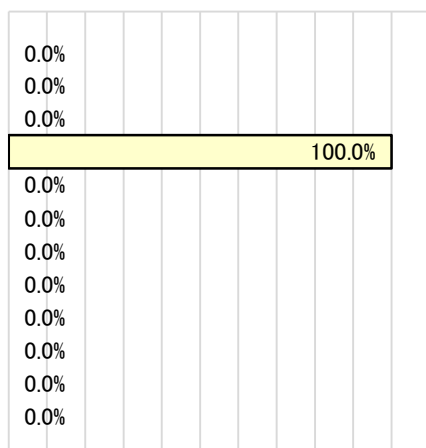
電気・ガス・熱供給・水道業



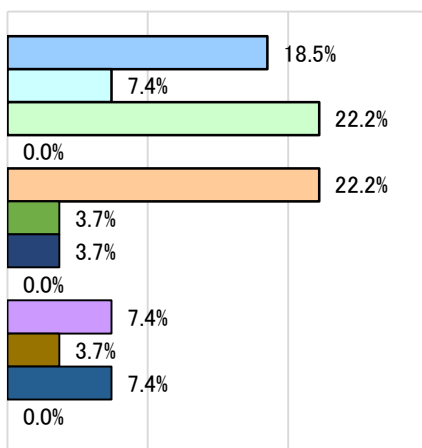
情報通信業



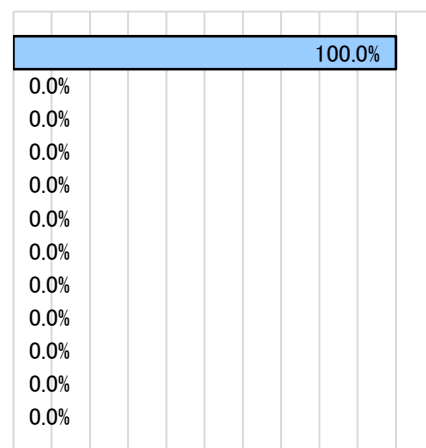
運輸業、郵便業



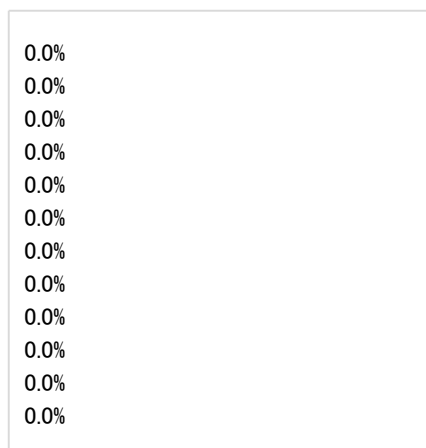
卸売業、小売業



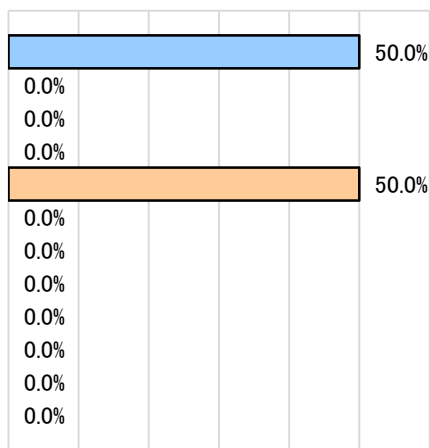
金融業、保険業



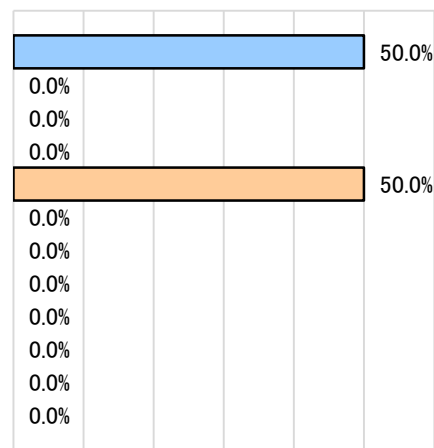
不動産業、物品賃貸業



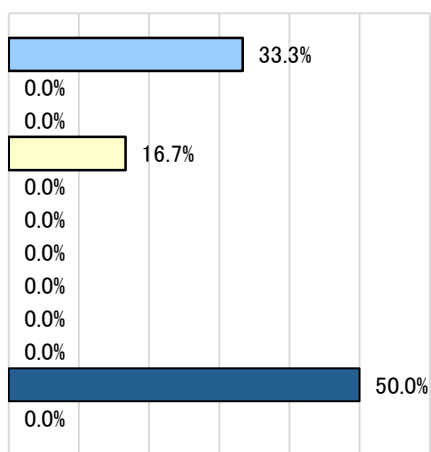
学術研究、専門・技術サービス業



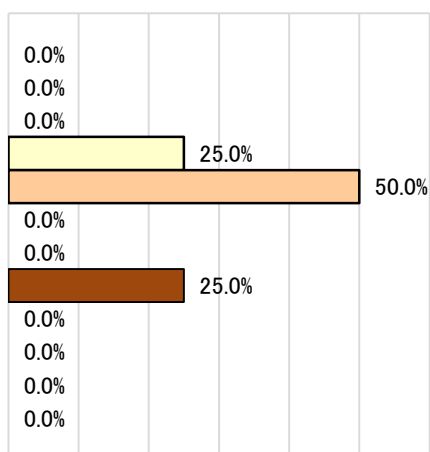
宿泊業、飲食サービス業



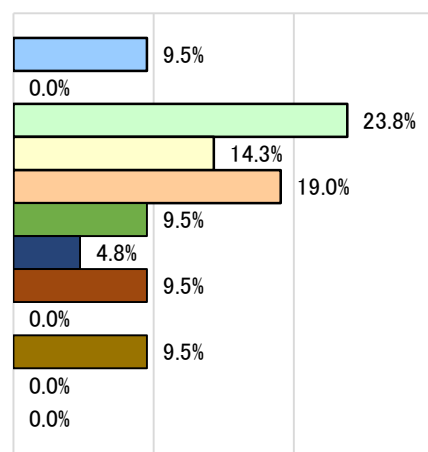
生活関連サービス業、娯楽業



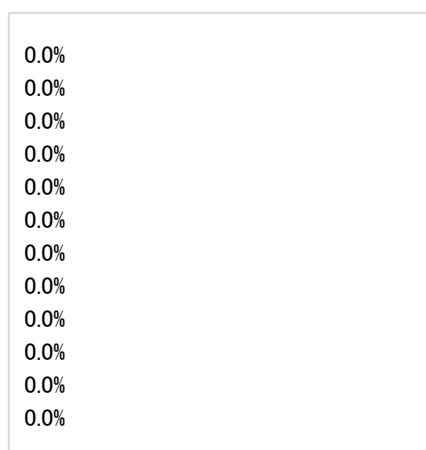
教育、学習支援業



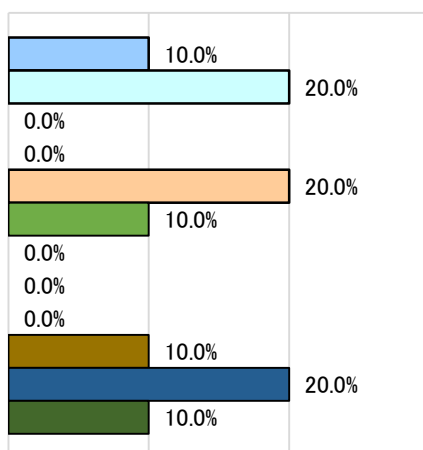
医療、福祉



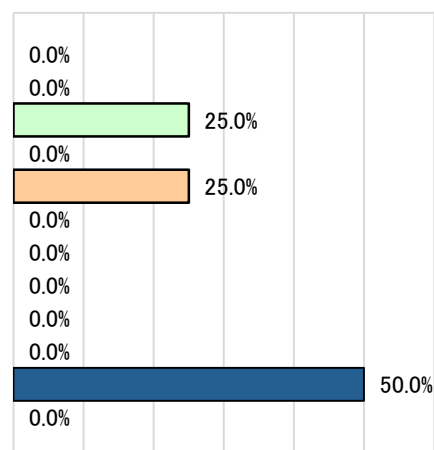
複合サービス事業



サービス業（他に分類されないもの）

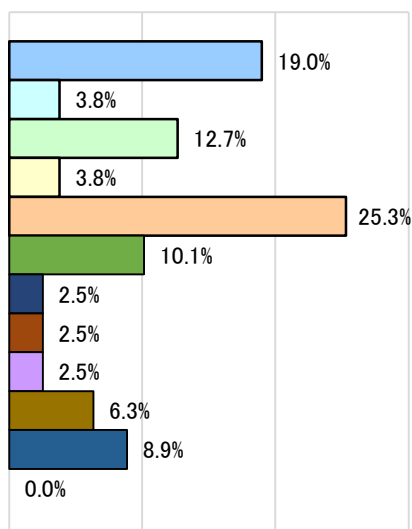


その他

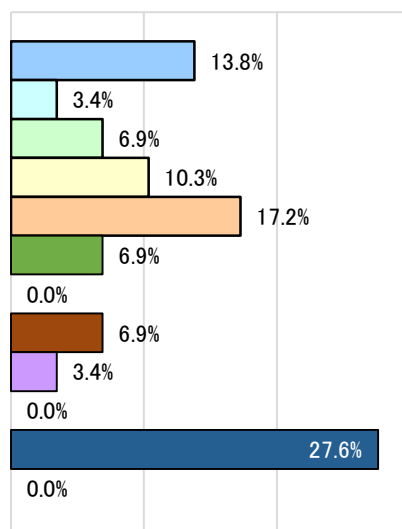


所在地別集計

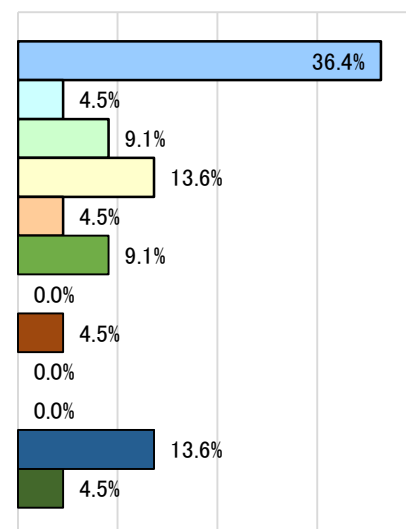
瑞浪地区



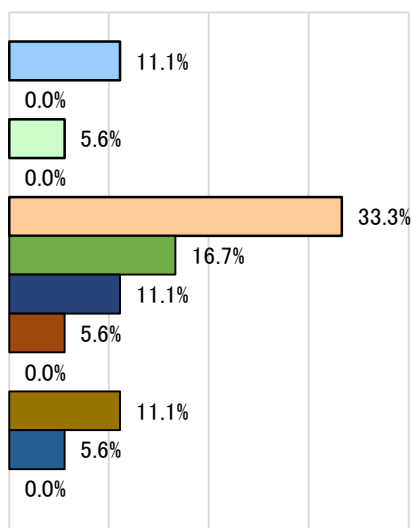
土岐地区



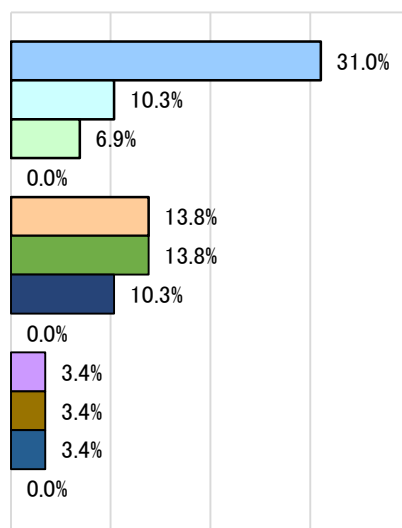
明世地区



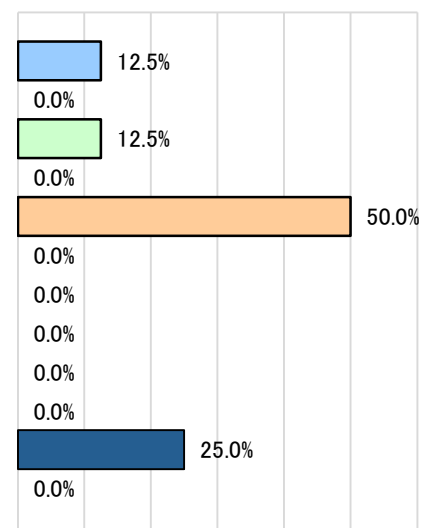
稲津地区



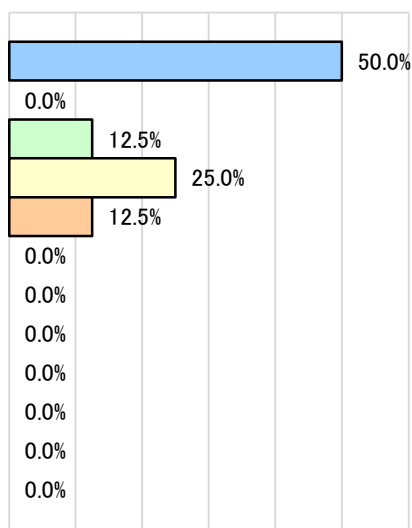
陶地区



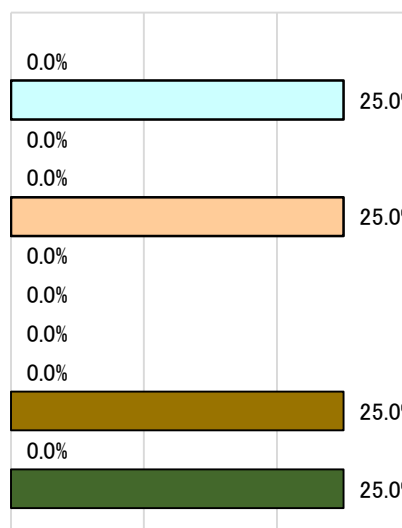
日吉地区



釜戸地区



大湫地区



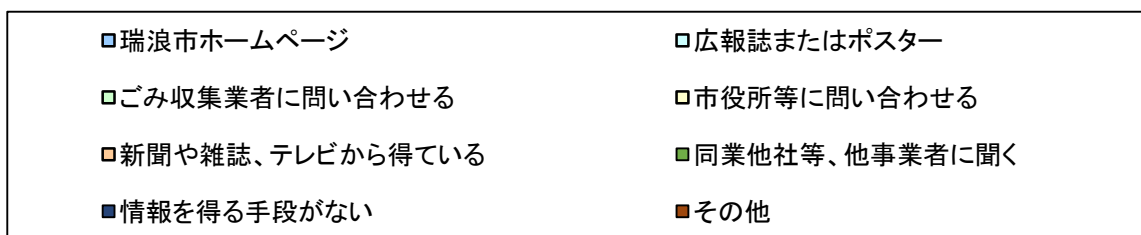
- 減量できるものがほとんどない
- リサイクルできるだけの量が確保できない
- 資源の保管場所が確保できない
- 企業秘密に係るもののため処理が難しい
- 手間や時間がかかる
- 経費がかかる
- リサイクル業者がわからない、見つからない
- 従業員の意識改革が難しい
- 売れ残り等を減らす販売管理が難しい
- 経済性などのメリットが得られない
- 特にない
- その他

Q4: ごみ処理に関する情報の提供について

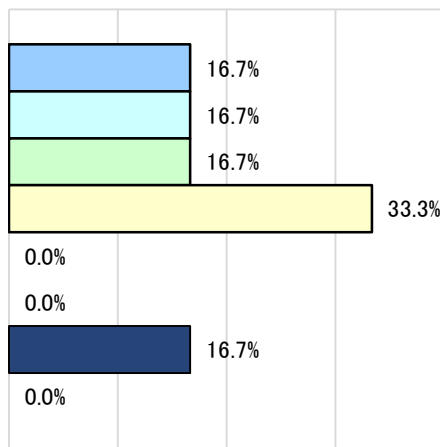
【問1. ごみ処理に関する情報を得ている主な情報源は何ですか？】

件数	比率	選択肢	グラフ
66	50.0%	1. 瑞浪市ホームページ	50.0%
31	23.5%	2. 広報誌またはポスター	23.5%
46	34.8%	3. ごみ収集業者に問い合わせる	34.8%
27	20.5%	4. 市役所等に問い合わせる	20.5%
6	4.5%	5. 新聞や雑誌、テレビから得ている	4.5%
17	12.9%	6. 同業他社等、他事業者聞く	12.9%
4	3.0%	7. 情報を得る手段がない	3.0%
3	2.3%	8. その他	2.3%
1	0.8%	無回答	0.8%
201	-	計	
その他: インターネット、クリーンセンター			

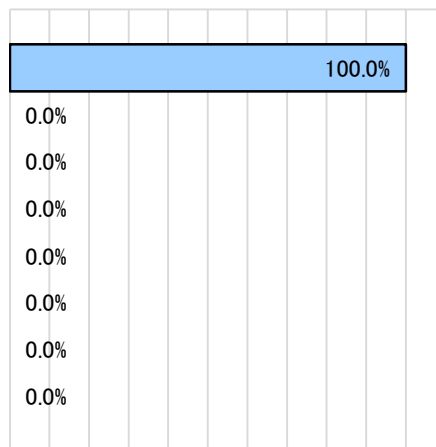
- ・「瑞浪市ホームページ」が最も多く、次いで「ごみ収集業者に問い合わせる」、「広報誌またはポスター」の順になっている。



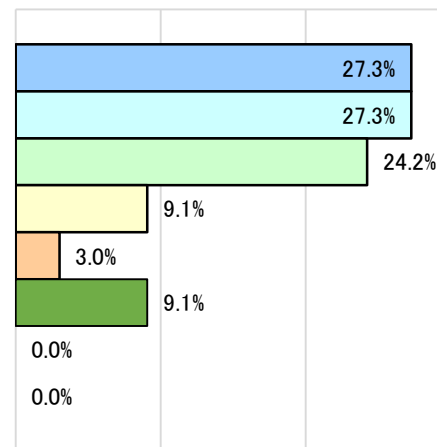
農林漁業



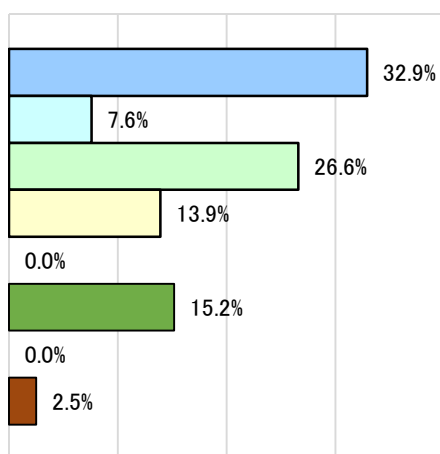
鉱業、採石業、砂利採取業



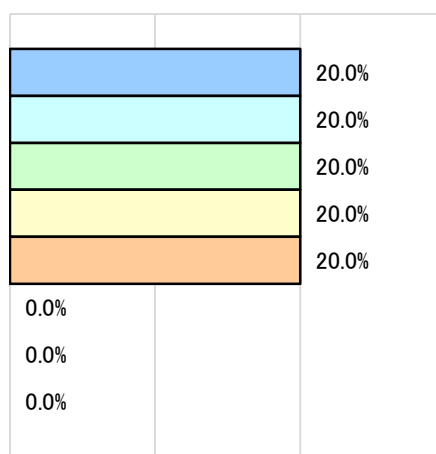
建設業



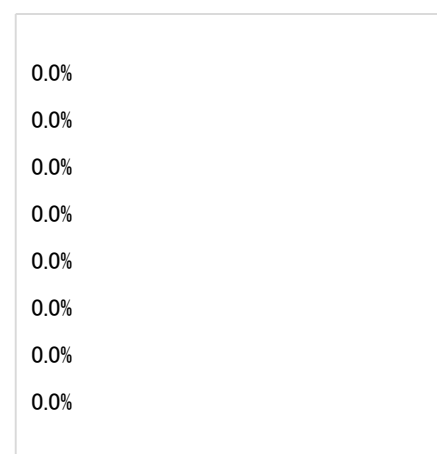
製造業



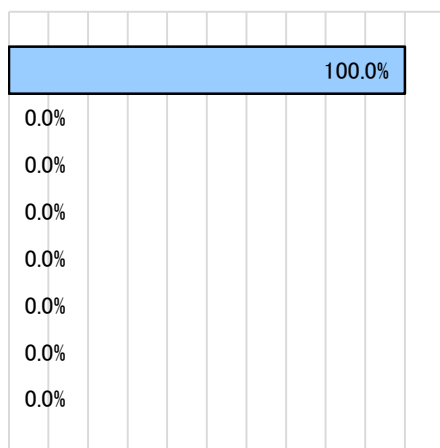
電気・ガス・熱供給・水道業



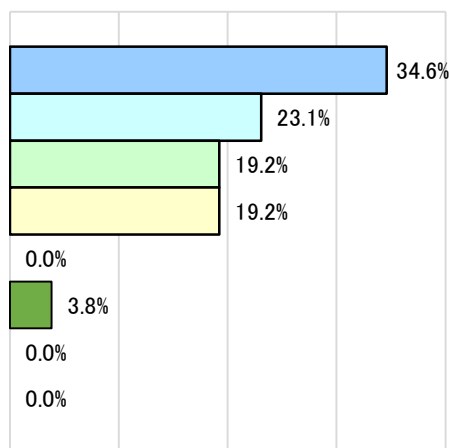
情報通信業



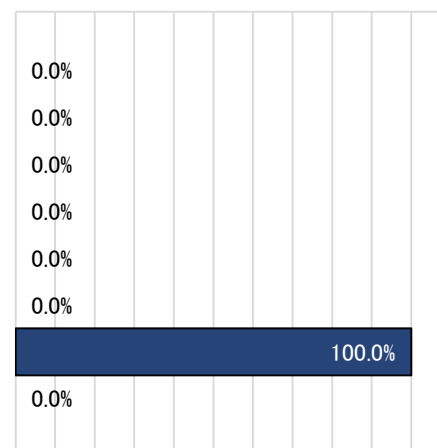
運輸業、郵便業



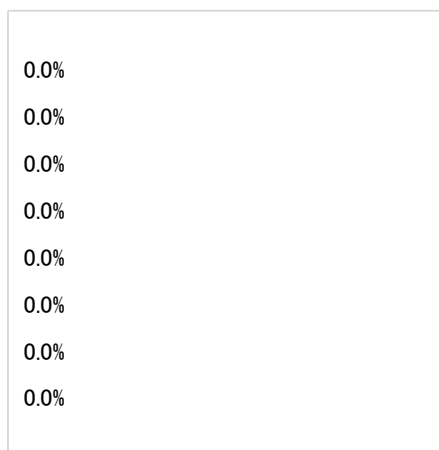
卸売業、小売業



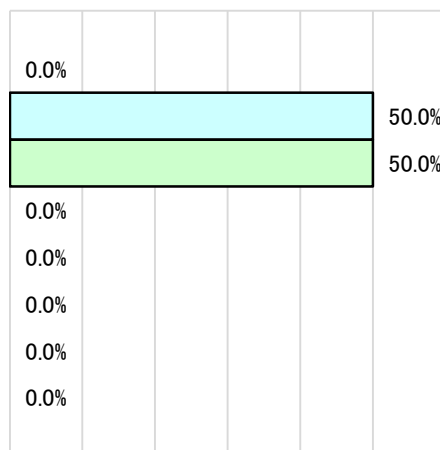
金融業、保険業



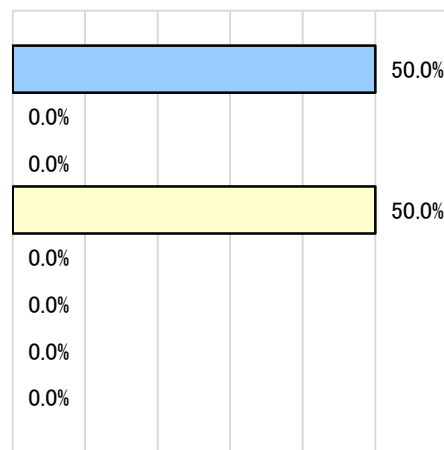
不動産業、物品賃貸業



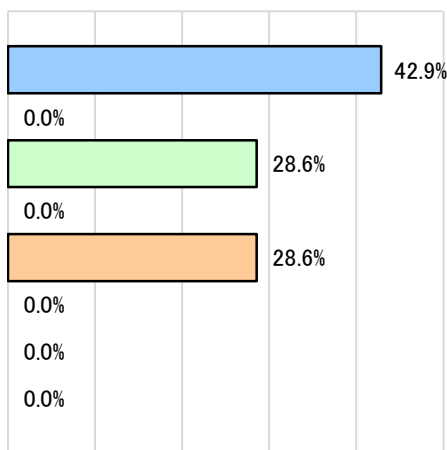
学術研究、専門・技術サービス業



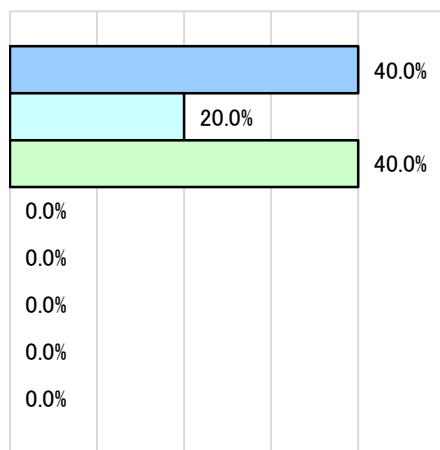
宿泊業、飲食サービス業



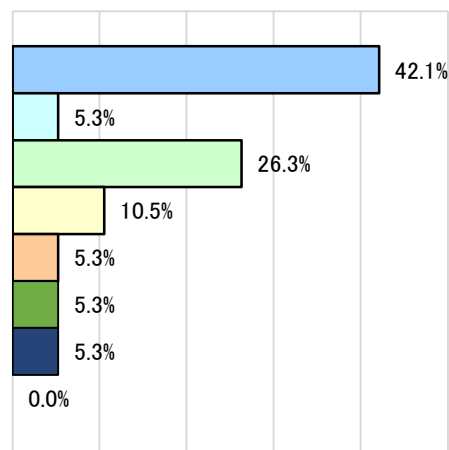
生活関連サービス業、娯楽業



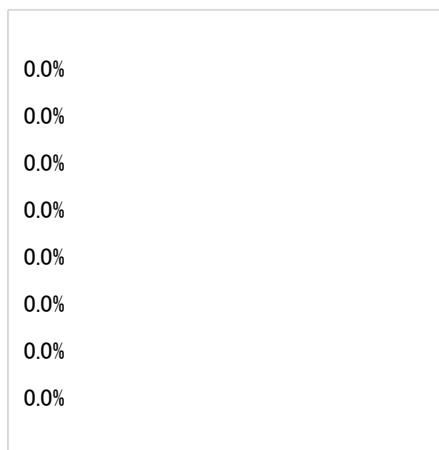
教育、学習支援業



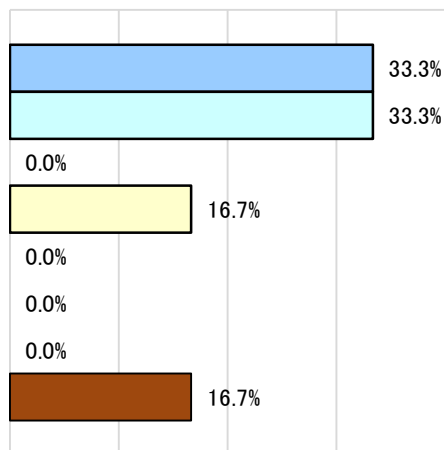
医療、福祉



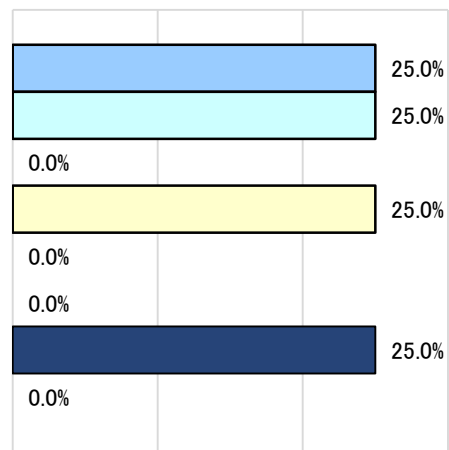
複合サービス事業



サービス業（他に分類されないもの）

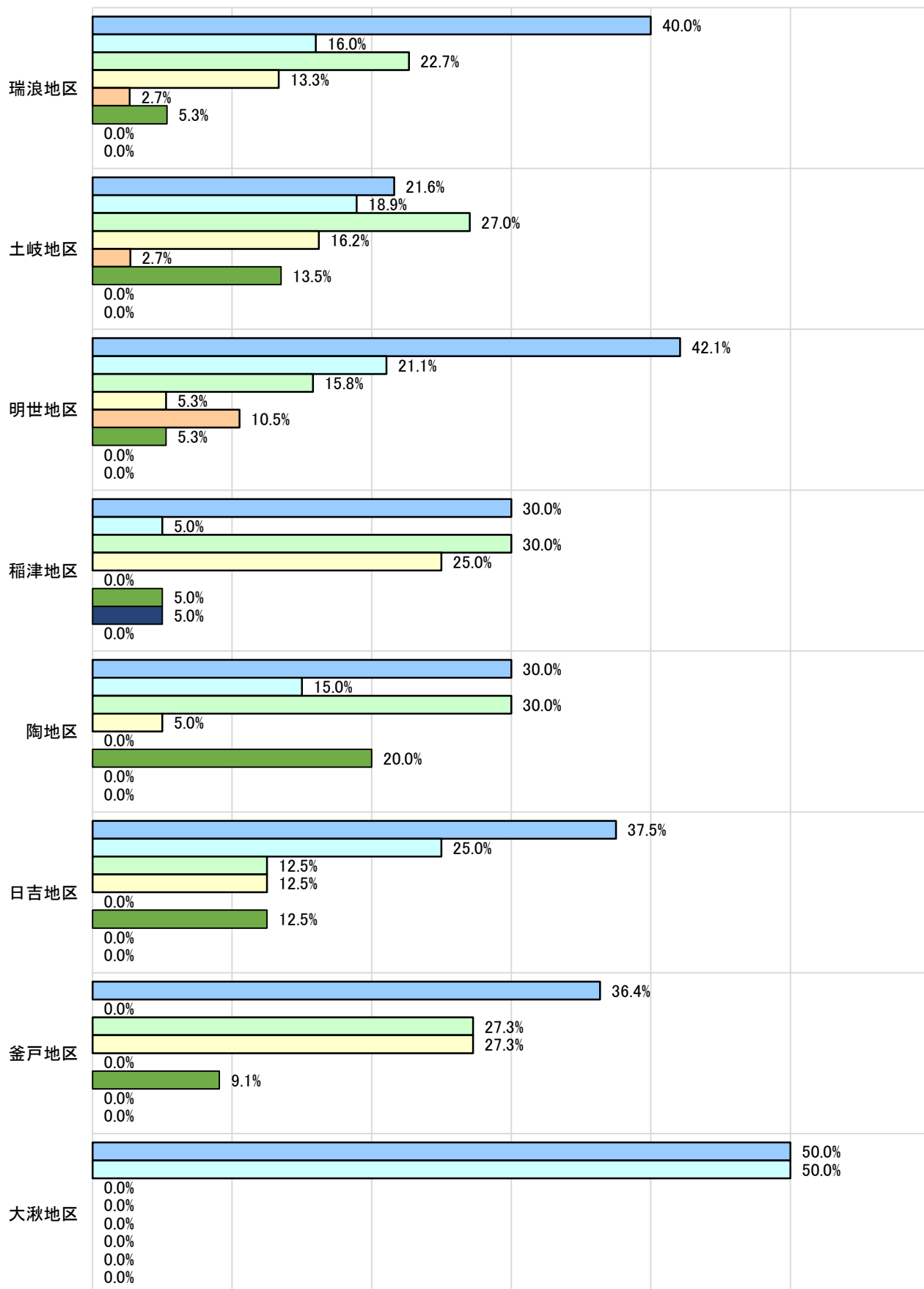


その他

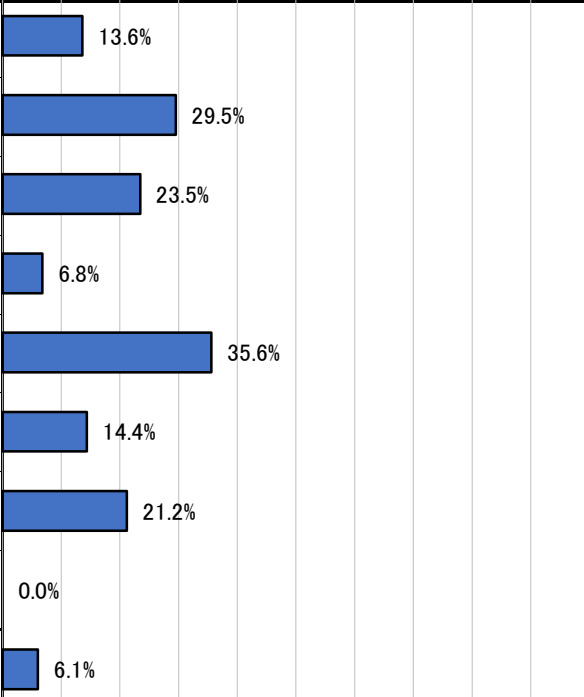


所在地別集計

- | | | |
|--------------|------------------|----------------|
| ■瑞浪市ホームページ | □広報誌またはポスター | □ごみ収集業者に問い合わせる |
| □市役所等に問い合わせる | □新聞や雑誌、テレビから得ている | ■同業他社等、他事業者聞く |
| ■情報を得る手段がない | ■その他 | |



【問2. 市からどのような情報を提供してほしいですか？＜最大3つまで＞】

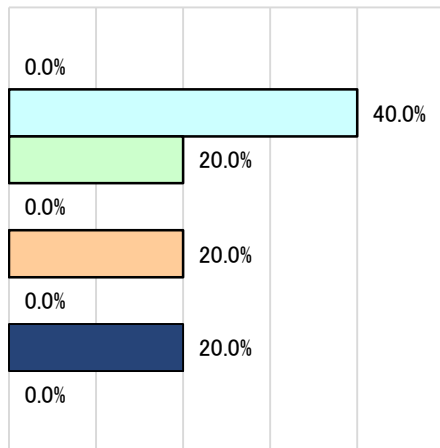
件数	比率	選択肢	グラフ						
18	13.6%	1. 収集運搬、処理の許可業者について							
39	29.5%	2. 業種別のごみ減量化・リサイクルの方法							
31	23.5%	3. 他の事業所の取り組み事例							
9	6.8%	4. 複数の事業所が共同で取り組めるごみの減量化・リサイクルの方法							
47	35.6%	5. 資源物を無償引き取りまたは買い取ってくれる業者							
19	14.4%	6. ごみ処理に関する問い合わせ先や相談窓口							
28	21.2%	7. 特にない							
0	0.0%	8. その他							
8	6.1%	無回答・4つ以上回答							
199	-	計							

- ・「資源物を無償引き取りまたは買い取ってくれる業者」が最も多く、次いで「業種別のごみ減量化・リサイクルの方法」、「他の事業所の取り組み事例」の順になっている。

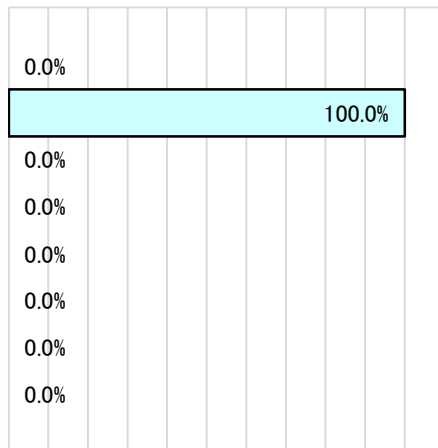
業種別集計

- 収集運搬、処理の許可業者について
- 業種別のごみ減量化・リサイクルの方法
- 他の事業所の取り組み事例
- 複数の事業所が共同で取り組めるごみの減量化・リサイクルの方法
- 資源物を無償引き取りまたは買い取ってくれる業者
- ごみ処理に関する問い合わせ先や相談窓口
- 特にない
- その他

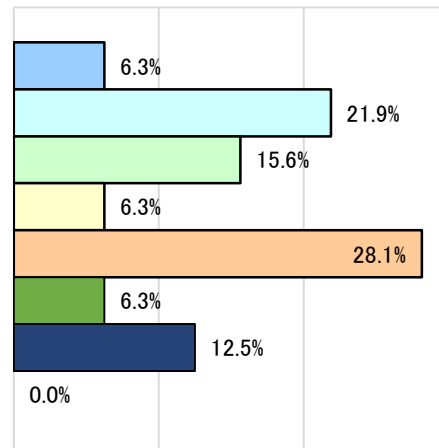
農林漁業



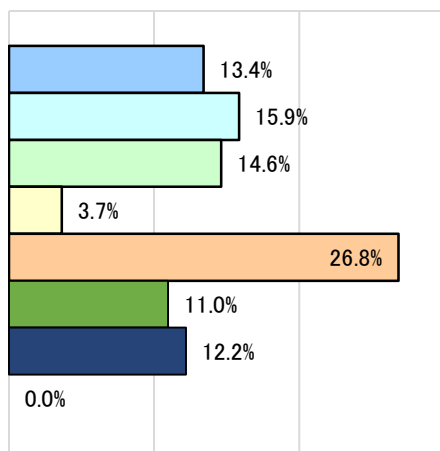
鉱業、採石業、砂利採取業



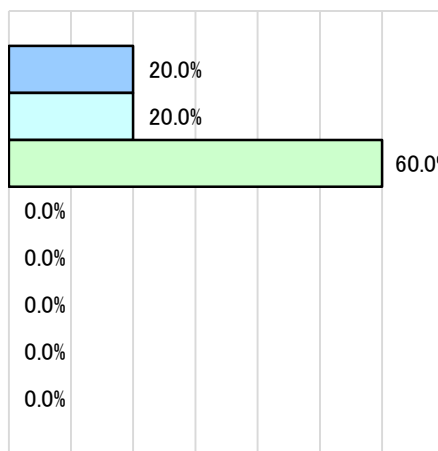
建設業



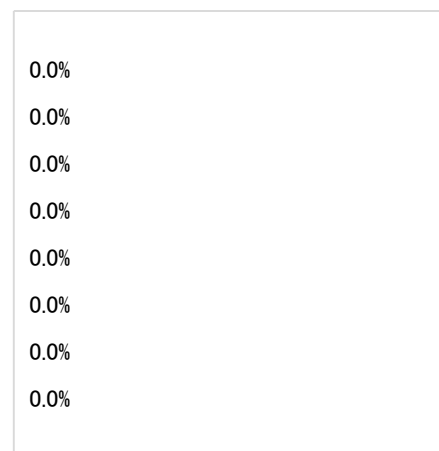
製造業



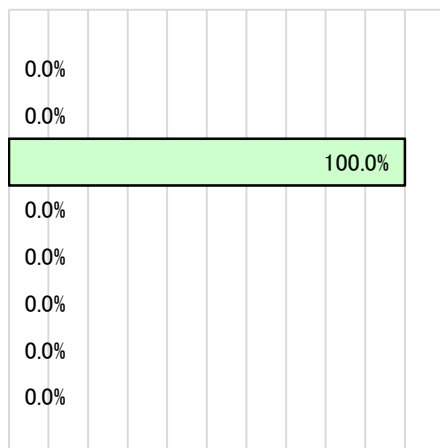
電気・ガス・熱供給・水道業



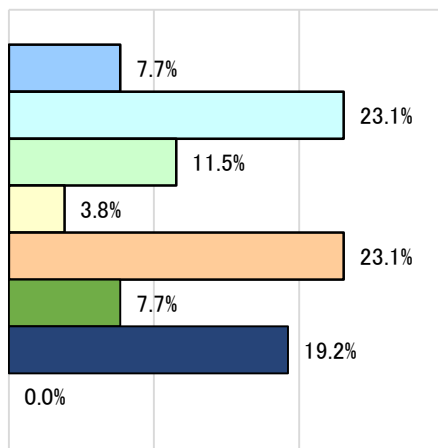
情報通信業



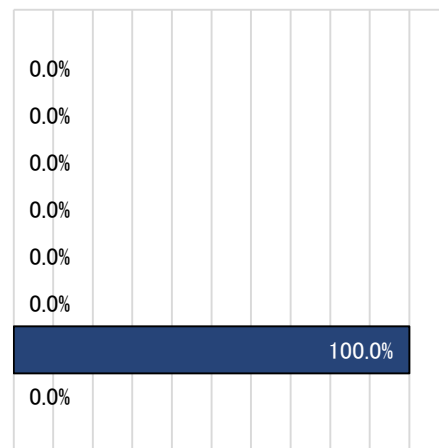
運輸業、郵便業



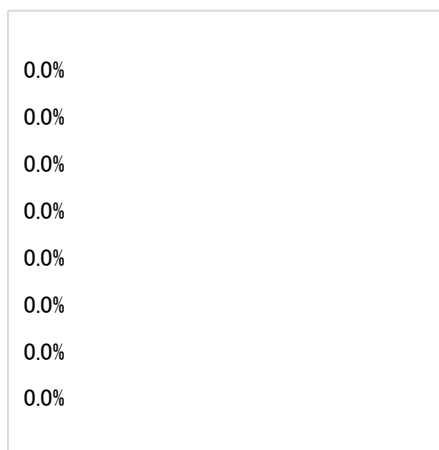
卸売業、小売業



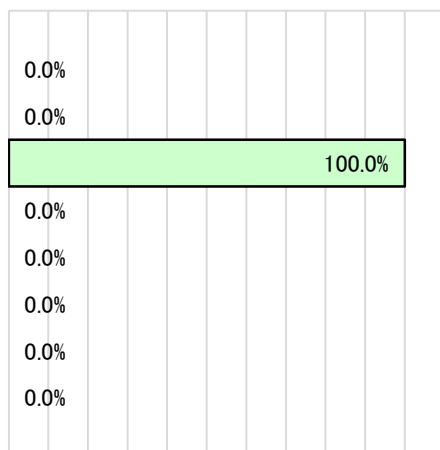
金融業、保険業



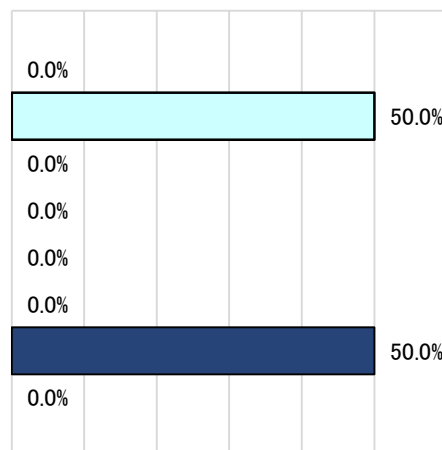
不動産業、物品賃貸業



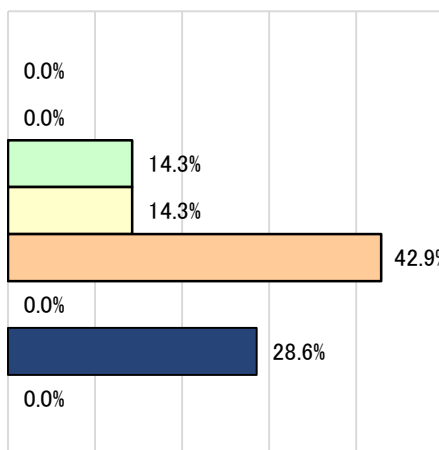
学術研究、専門・技術サービス業



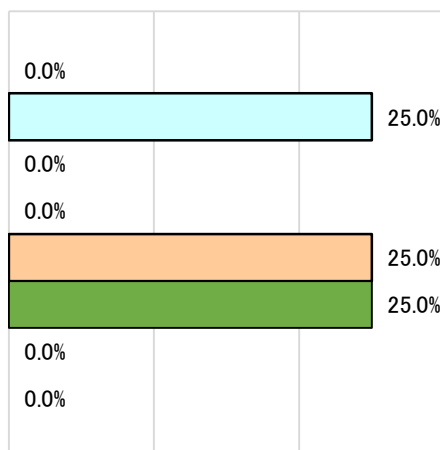
宿泊業、飲食サービス業



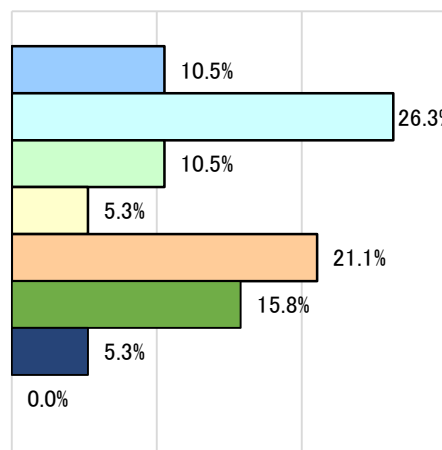
生活関連サービス業、娯楽業



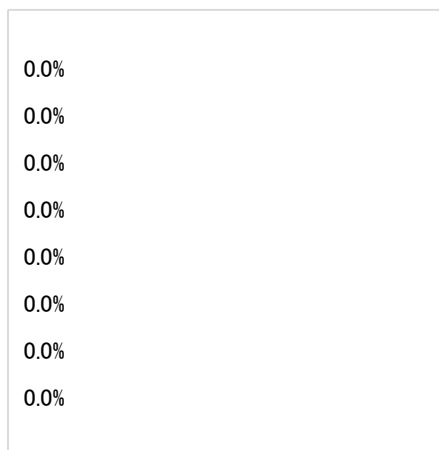
教育、学習支援業



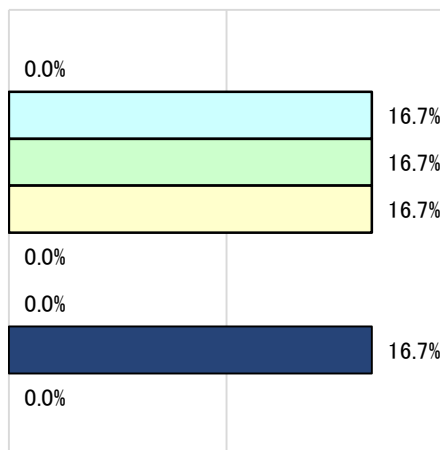
医療、福祉



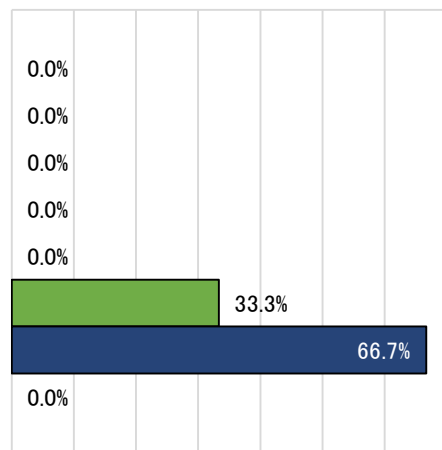
複合サービス事業



サービス業(他に分類されないもの)

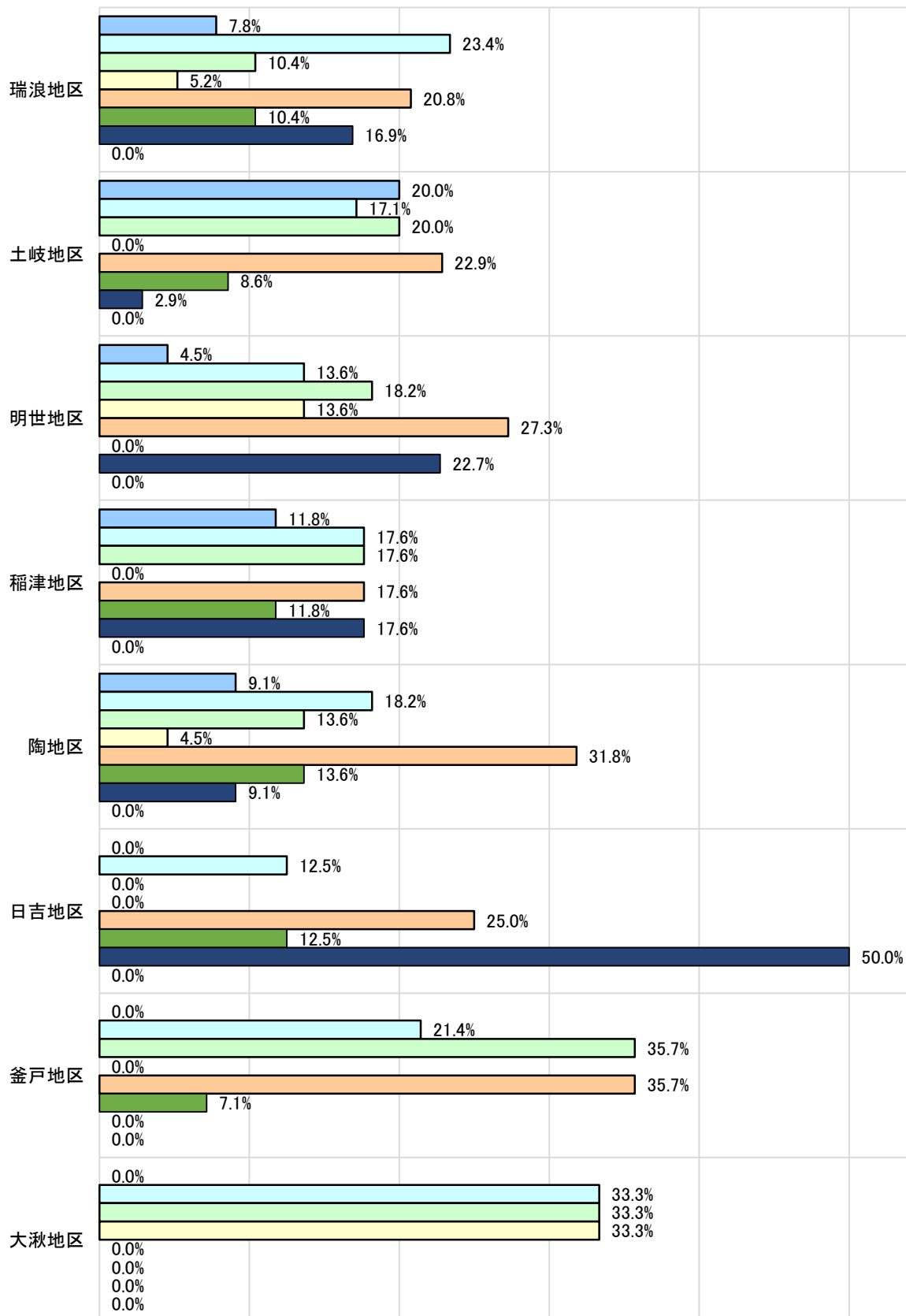


その他



所在地別集計

- 収集運搬、処理の許可業者について
- 業種別のごみ減量化・リサイクルの方法
- 他の事業所の取り組み事例
- 複数の事業所が共同で取り組めるごみの減量化・リサイクルの方法
- 資源物を無償引き取りまたは買い取ってくれる業者
- ごみ処理に関する問い合わせ先や相談窓口
- 特にない
- その他



【問3. ごみ減量・リサイクルを推進するにあたり、市に期待することは何ですか？＜最大3つまで＞】

件数	比率	選択肢	グラフ
45	34.1%	1. 業種別のごみ減量化・リサイクルの方法を示したマニュアルの作成・配布	34.1%
48	36.4%	2. ごみ処理業者やリサイクルを行う業者等の紹介	36.4%
35	26.5%	3. 他の事業所のごみ減量・リサイクルの先進的事例の紹介	26.5%
37	28.0%	4. ごみ減量・リサイクルに関する経済的メリットが得られる仕組みの構築	28.0%
4	3.0%	5. 事業者を対象としたごみ減量やリサイクルに関する講習会や研修会の実施	3.0%
8	6.1%	6. 事業者同士が共同で資源回収を行うなどの連携組織の構築に向けた支援	6.1%
3	2.3%	7. 事業者と行政の意見交換の場の提供	2.3%
21	15.9%	8. 特にない	15.9%
2	1.5%	9. その他	1.5%
6	4.5%	無回答・4つ以上回答	4.5%
209	-	計	

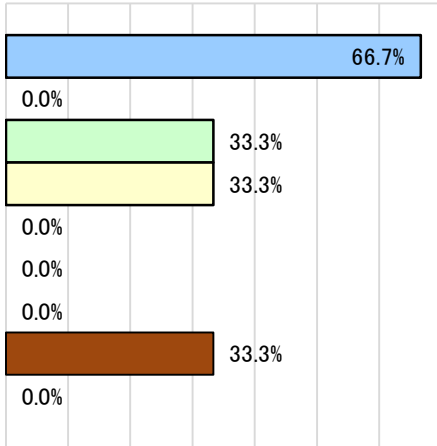
その他：
 ・家具等のリサイクル
 ・石膏型を処理する枠を増やして欲しい。

- ・「ごみ処理業者やリサイクルを行う業者等の紹介」が最も多く、次いで「業種別のごみ減量化・リサイクルの方法を示したマニュアルの作成・配布」、「ごみ減量・リサイクルに関する経済的メリットが得られる仕組みの構築」の順になっている。

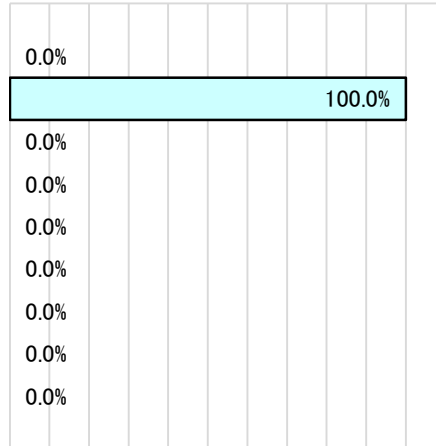
業種別集計

- 業種別のごみ減量化・リサイクルの方法を示したマニュアルの作成・配布
- ごみ処理業者やリサイクルを行う業者等の紹介
- 他の事業所のごみ減量・リサイクルの先進的事例の紹介
- ごみ減量・リサイクルに関する経済的メリットが得られる仕組みの構築
- 事業者を対象としたごみ減量やリサイクルに関する講習会や研修会の実施
- 事業者同士が共同で資源回収を行うなどの連携組織の構築に向けた支援
- 事業者と行政の意見交換の場の提供
- 特にない
- その他

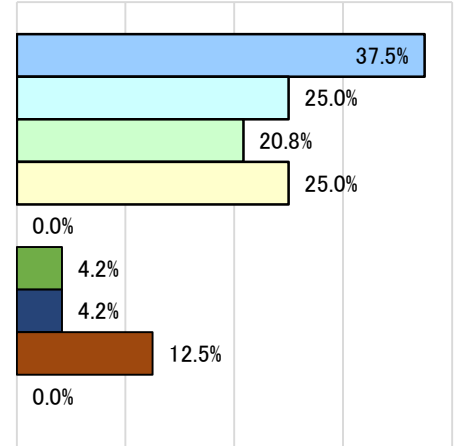
農林漁業



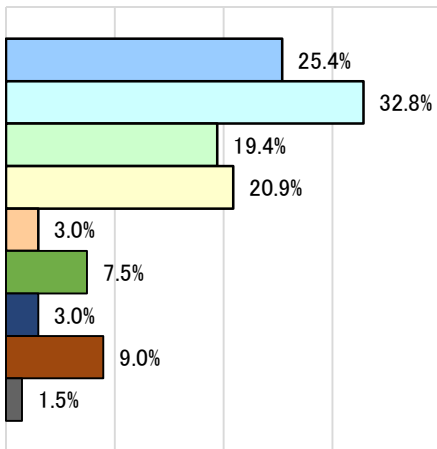
鉱業、採石業、砂利採取業



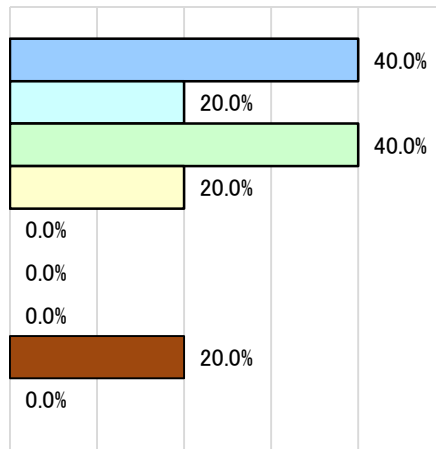
建設業



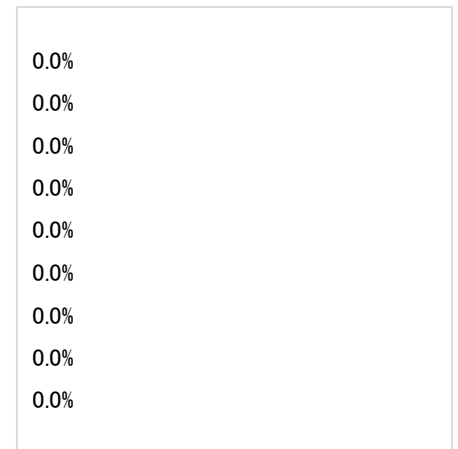
製造業



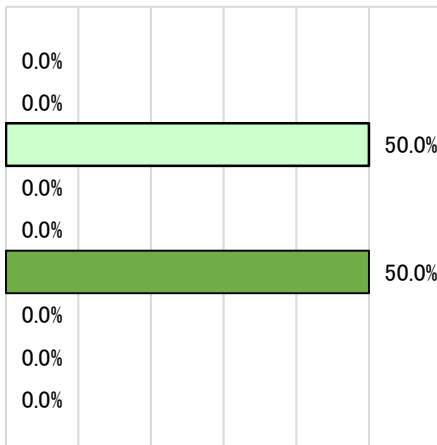
電気・ガス・熱供給・水道業



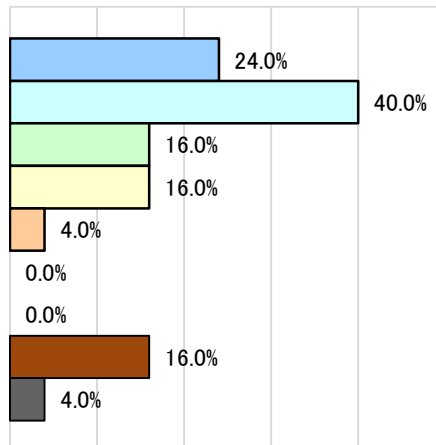
情報通信業



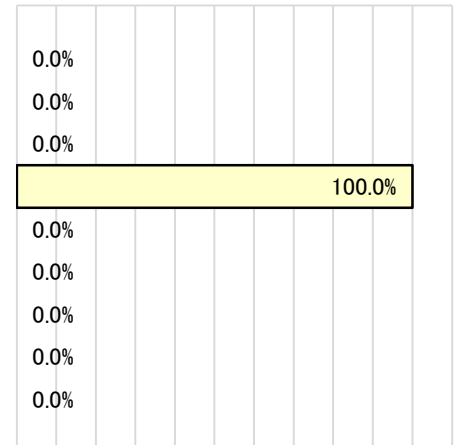
運輸業、郵便業



卸売業、小売業



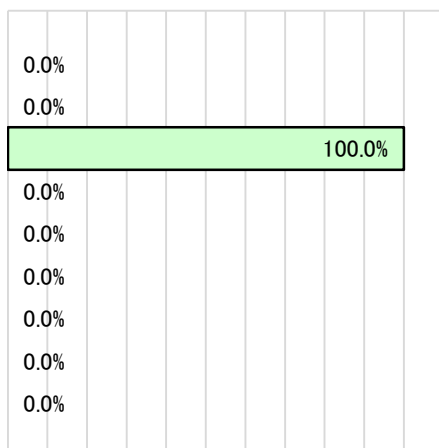
金融業、保険業



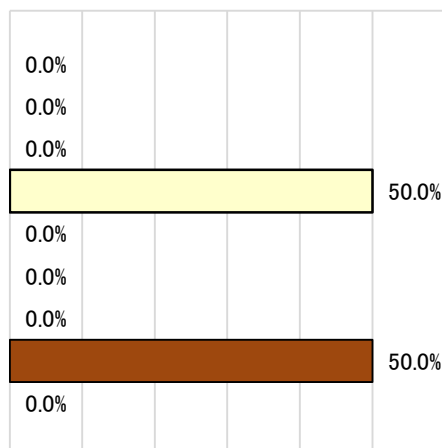
不動産業、物品賃貸業



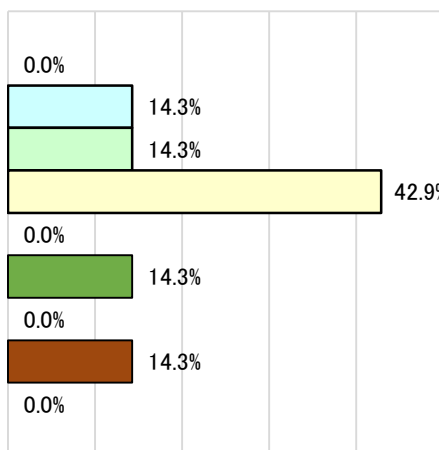
学術研究、専門・技術サービス業



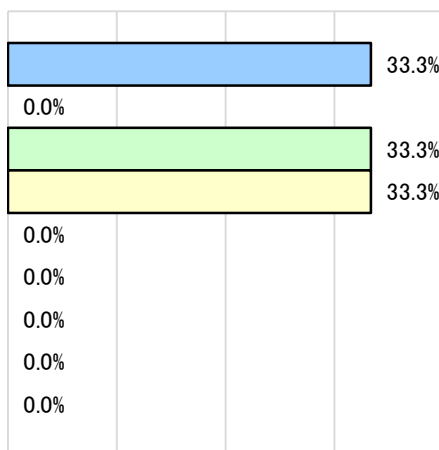
宿泊業、飲食サービス業



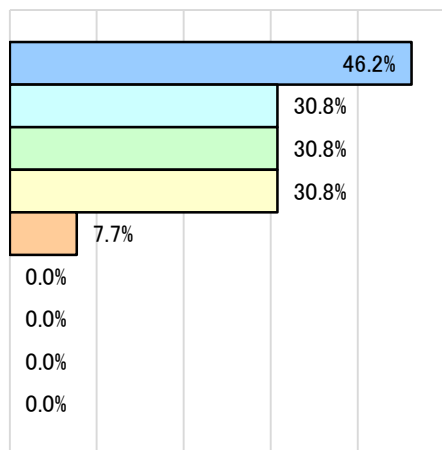
生活関連サービス業、娯楽業



教育、学習支援業



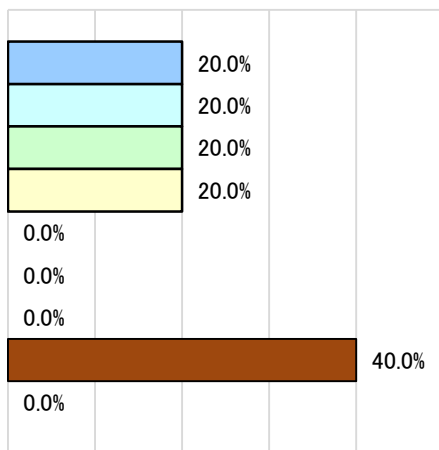
医療、福祉



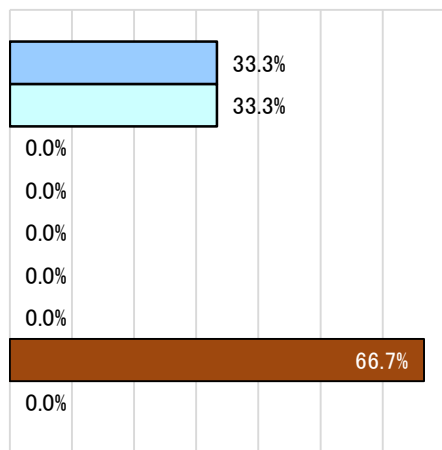
複合サービス事業



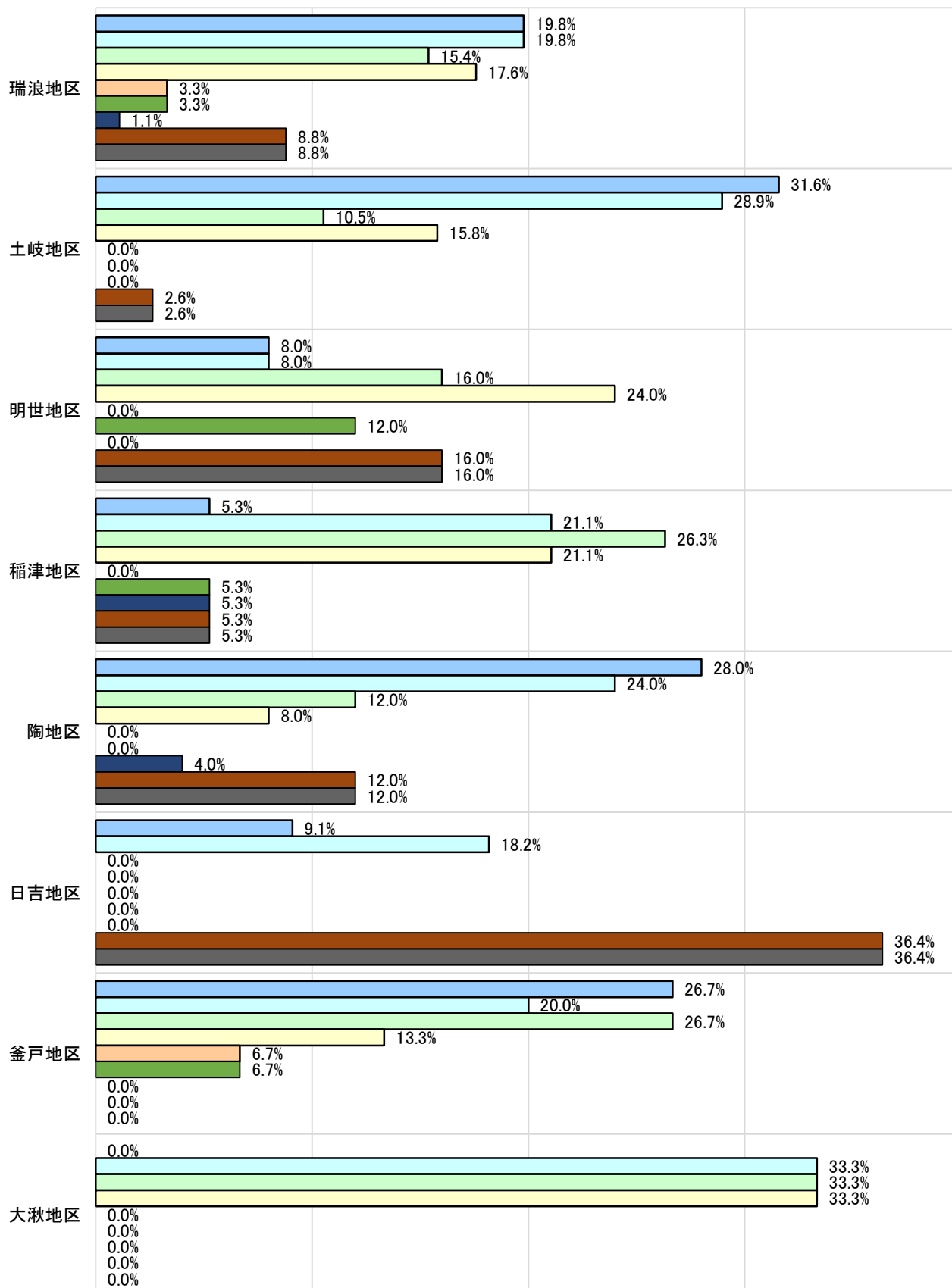
サービス業（他に分類されないもの）



その他



- 業種別のごみ減量化・リサイクルの方法を示したマニュアルの作成・配布
- ごみ処理業者やリサイクルを行う業者等の紹介
- 他の事業所のごみ減量・リサイクルの先進的事例の紹介
- ごみ減量・リサイクルに関する経済的メリットが得られる仕組みの構築
- 事業者を対象としたごみ減量やリサイクルに関する講習会や研修会の実施
- 事業者同士が共同で資源回収を行うなどの連携組織の構築に向けた支援
- 事業者と行政の意見交換の場の提供
- 特にない
- その他



自由意見 あなたの事業所で取り組まれているごみ減量・リサイクルについて、特に効果的と思われる取り組みや、ごみに関して困っていることなど、ご意見がございましたら、以下にご記入ください。 Q5:
・ 個人情報載っている書類は焼却ごみとして、それ以外は分別してリサイクル業者に引き取っていただいている。又、ごみの分別をして市のリサイクルセンターにある程度たまった時点で持ち込ませていただいております。
・ 事業所としてゴミをどのように扱うべきか教えてほしい。瑞浪市が、ゴミとどのように向き合っていくかのビジョンを伝えてほしい。事業所にとってもその方が貢献もしやすく、また取り組みやすい。
・ 色付セルペンを捨てる場所の確保。
・ 不良品が多ければ捨てる量も増える。その為、半製品の時点で、検品、手直しをし、不良発生を減らす工夫をしている。また、それでも発生した不良品に対しては、原因をつきとめ、次回同じ製品での不良率を下げるようにしている。処分場の捨てる量が以前より減らされているので、減産して調整している。弊社は小さな会社だが、売上減は税金にとってもデメリットではないかと考えます。あまり会社をしばりつけると、考えることが多くなり、本業がおろそかになります。
・ いつも迅速に御対応頂き、誠に有難う御座います。
・ 弊社では可燃ごみ全て環境センターへ持込んでいます。当初は生ごみ、食べ残しetcを近所の集積所へ出しておりましたが、近隣の方々よりケージが小さい為入り切らないとの事で反対され、弊社が新たに1台購入するので生ごみは出させて欲しいとお願いしたのですが、断られた経緯があります。夏場は生ごみがすぐに腐るので、衛生上良くない事で困っています。(地域には事業所協力費を払っているのですが…)自分が出勤途中には各地で事業所の方が集積所に出しているのを見るので、納得が出来ません。
・ 毎事、陶器くずを減らしてはいますが事業を拡大すると、それなりに出てしまいます。今、1.7tですが、年々少なくなっています。逆にいえば、売上に比例して、ゴミの量が決まります。リサイクルできる物は、B品として、渡しますが割れ、掛けは、どうしてもゴミとして出てしまいます。
・ 事業所用のゴミを処分場へ持ち込みそれなりの料金を支払う事には義務だと思っています。不燃物を持ち込む時は、料金が少し安くないのかなと思う時があります。安くてありがたいですが、もう少し高くしても良いと思います。資源ゴミの分別で思う事はペットボトルなど可燃ゴミに混入しないと火力が強くないのではないですか？空気の入ったペットボトルは火力増強に繋がるのではないのでしょうか？瑞浪市は火力でなく蒸気なので必要ないですか。市、全体が山で囲まれているせいか、雑草、雑木が道路横にはみだして来ている状態を見ると、もう少し美化に気をつけてほしいものです。美観地区を作ろうなどと大げさな物でなく、草取り、クリーンキャンペーンなど市全体で取りくみすればキレイな町・市になり流れが変わります。お金をかけずに、月一回市のクリーン作戦で不燃ゴミや、可燃ゴミを集収して、市全体をキレイにして行けたら(生けたら)最高です。我が町我が市、我が地区だからです。ありがとうございます。
・ リサイクルに使えないし、保管しておくには場所をとるので燃やすしかない。
・ 大量の物に関しては、リサイクル業者と契約している(書類等)。昨今IT化が進んでいるので、書類等は減ると思われるが、燃えないものに関しては、一定量は変わらず有るが、昔と比べると減っていると思われる。
・ 古紙回収ボックスの設置。個人情報が大変多く処理に困っている。→知らない間に、いらぬ書類がたまってしまう。
・ プラパレットは再生が可能と思うが引取業者が枚数をまとめないと引取れない為、ゴミとして処理しなくてはならない。市で回収して業者に引取をお願いできないでしょうか。中小企業一社では引取してくれる枚数確保が難しいが、中小が集まれば回収してもらえる枚数が確保できるのではないかと。
・ 産業廃棄物、不燃物のクリーンセンターへの持ち込み可能量が少ない。廃棄する量を減らす努力はしているが限りがある。もう少し増やしてもらえるとよい。
・ 業務の都合上、あまり頻繁にはクリーンセンターへ持ち込めないため、資源ゴミ等の保管場所に苦慮しております。省スペース化できるようなアイデアがあれば教えていただきたいです。

・ 事業柄、グリースなどを扱い、それを拭いた布などを直接ダンボール箱に入れることが多く、ダンボールに油が付いてしまい、資源として使えなくなってしまうので、従業員にビニール袋に入れるなどを周知したいと思うのですが、面倒なのか、やはりダンボールに入れてしまうので、どうにかしたいと思います。
・ 有料化
・ 私の仕事は製陶業で、型を稲津の型捨ての場所へ持って行っています。ありがたいです。
・ 当事業所では、作業で出るダンボール、紙などは、元請け業者に返しますので大きなゴミとなる物はありません。障害者の就労施設なので利用者のお弁当ゴミが事業所から出る大半です。これに関しては、毎日出る物なので大きく減量することが出来ません。
・ ゴミ処理は瑞浪市のみで取り組むべき。土岐市、多治見市に依存してはいけない。